



滋賀県立大学
平成29（2017）年度
講義概要（シラバス）

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1110181	英語 A (活性化コース) (看護)	鈴木 里奈	前期	...	1
1110182	英語 B (活性化コース) (看護)	鈴木 里奈	後期	...	3
1110191	英語 A (活性化コース) (看護)	鈴木 里奈	前期	...	5
1110192	英語 B (活性化コース) (看護)	鈴木 里奈	後期	...	7
1110391	英語 A (応用コース) (看護)	Ashley Mark Stevens	前期	...	9
1110392	英語 B (応用コース) (看護)	Ashley Mark Stevens	後期	...	11
1110401	英語 A (応用コース) (看護)	Ashley Mark Stevens	前期	...	13
1110402	英語 B (応用コース) (看護)	Ashley Mark Stevens	後期	...	15
1110591	英語 A (充実コース) (看護)	西澤 裕一	前期	...	17
1110592	英語 B (充実コース) (看護)	西澤 裕一	後期	...	19
1110601	英語 A (充実コース) (看護)	市場 史哉	前期	...	21
1110602	英語 B (充実コース) (看護)	市場 史哉	後期	...	23
1110611	英語 A (充実コース) (看護)	出原 健一	前期	...	25
1110612	英語 B (充実コース) (看護)	出原 健一	後期	...	27
1110801	英語 A (展開コース) (看護)	渡 寛法	前期	...	29
1110802	英語 B (展開コース) (看護)	渡 寛法	後期	...	31
1110811	英語 A (展開コース) (看護)	渡 寛法	前期	...	33
1110812	英語 B (展開コース) (看護)	渡 寛法	後期	...	35
1110821	英語 A (展開コース) (看護)	Walter Klinger	前期	...	37
1110822	英語 B (展開コース) (看護)	Walter Klinger	後期	...	39
1130070	情報リテラシー (情報倫理を含む) (看護a)	中川 雅央	前期	...	41
1130080	情報リテラシー (情報倫理を含む) (看護b)	中川 雅央	前期	...	43
1130180	情報科学概論 (看護a)	中川 雅央	後期	...	45
1130190	情報科学概論 (看護b)	中川 雅央	後期	...	47
1150340	人間探求学 (人間看護) 学科教員		前期	...	49
1500010	育成看護論 / 古川 洋子		後期後半	...	51
1500045	育成看護論演習 / 古川 洋子		前期	...	53
1500047	育成看護論演習 / 渡邊 友美子		前期	...	55
1500051	育成看護論実習 / 古川 洋子		通年実習	...	57
1500061	母性看護学概論 / 古川 洋子		後期後半	...	59
1500062	母性看護学 / 古川 洋子		前期	...	61
1500080	疫学 未定*		後期	...	63
1500081	エンドオブライフケア演習 / 糸島 陽子		前期	...	65
1500082	エンドオブライフケア実習 / 伊藤 あゆみ		通年実習	...	67
1500083	家族看護学 / 大脇 万起子		前期	...	69
1500100	体のしくみと機能 / 安原 治		前期	...	71
1500105	解剖生理学 / 安原 治		前期	...	73
1500110	体のしくみと機能 / 安原 治		後期	...	75
1500115	解剖生理学 / 安原 治		後期	...	77
1500120	体のしくみと機能 / 若林 保良		前期前半	...	79
1500121	看護英語 / 安原 治		前期	...	81
1500122	看護介入とアウトカム / 横井 和美		前期	...	83
1500125	生化学 / 若林 保良		前期前半	...	85
1500140	看護管理論 / 窪田 好恵		前期	...	87
1500142	看護キャリアデザイン論 / 横井 和美		前期	...	89
1500143	看護教育と実践 / 米田 照美		前期集中	...	91
1500144	看護研究の基礎 / 古株 ひろみ		後期	...	93
1500161	看護トピックス / 甘佐 京子		前期	...	95
1500162	看護理論 (看護学部) / 米田 照美		後期	...	97
1500163	基礎看護学実習 / 伊丹 君和		前期実習	...	99
1500164	基礎看護学実習 / 米田 照美		前期実習	...	101
1500165	基礎看護技術 / 伊丹 君和		前期	...	103
1500166	基礎看護技術 / 伊丹 君和		後期	...	105
1500167	基礎看護技術 / 伊丹 君和		前期	...	107
1500168	基礎看護技術 / 米田 照美		前期	...	109
1500171	基礎助産学 / 板谷 裕美		前期	...	111
1500172	基礎助産学 / 板谷 裕美		前期	...	113
1500181	クリティカルケア実践演習 / 荒川 千登世		前期	...	115
1500190	健康科学 / 安原 治		後期	...	117
1500195	病理学 / 安原 治		後期	...	119
1500200	健康科学 / 北川 善紀		前期前半	...	121
1500205	微生物学 / 北川 善紀		前期前半	...	123
1500212	健康教育論 / 小島 亜未		前期	...	125
1500213	公衆衛生学 (看護) / 草野 文嗣		前期	...	127
1500214	公衆衛生看護学 / 馬場 文		前期	...	129
1500215	公衆衛生看護学 / 小林 孝子		前期後半	...	131
1500216	公衆衛生看護学概論 / 小林 孝子		前期	...	133
1500217	国際看護学 / 近藤 麻理		前期集中	...	135
1500221	災害看護学 / 増尾 佳苗		前期集中	...	137
1500222	在宅看護学演習 / 森本 安紀		前期	...	139
1500223	在宅看護学概論 / 河野 益美		前期	...	141
1500224	在宅看護援助論 / 河野 益美		後期	...	143
1500225	在宅看護学実習 / 森本 安紀		通年実習	...	145
1500226	在宅看護学 / 河野 益美		後期	...	147
1500311	疾病論 / 横井 和美		前期	...	149

1500321	小児看護学概論 古株 ひろみ 前期前半	...	151
1500322	小児臨床看護学/古株 ひろみ 後期	...	153
1500323	小児臨床看護学演習/玉川 あゆみ 前期	...	155
1500324	小児臨床看護学実習/玉川 あゆみ 通年実習	...	157
1500325	疾病論 横井 和美 後期	...	159
1500326	疾病論 越山 雅文 後期前半	...	161
1500327	精神保健論 甘佐 京子 後期	...	163
1500328	栄養学 小澤 恵子 後期	...	165
1500329	小児看護学 古株 ひろみ 後期	...	167
1500452	成人看護学概論 糸島 陽子 後期前半	...	169
1500453	成人クリティカルケア演習 荒川 千登世 前期	...	171
1500454	成人クリティカルケア実習 生田 宴里 通年実習	...	173
1500455	成人クロニックケア演習 大門 裕子 後期	...	175
1500456	成人クロニックケア実習 中川 美和 通年実習	...	177
1500461	精神臨床看護学/甘佐 京子 後期	...	179
1500462	成人臨床看護学/横井 和美 前期	...	181
1500463	精神臨床看護学演習/牧野 耕次 前期	...	183
1500464	精神臨床看護学実習/牧野 耕次 通年実習	...	185
1500465	成人看護学 横井 和美 前期	...	187
1500580	卒業研究(人間看護) 学科教員 通年研究	...	189
1500731	地域母子保健/板谷 裕美 前期後半	...	191
1500732	チャイルドライフケア論 古株 ひろみ 前期	...	193
1500733	治療的コミュニケーション技術論/甘佐 京子 前期	...	195
1500734	人間看護学概論 窪田 好恵 前期	...	197
1500741	人間看護学統合実習/窪田 好恵 前期実習	...	199
1500780	人間性心理論/甘佐 京子 後期	...	201
1500841	ボランティア実践演習 伊丹 君和 前期集中	...	203
1500842	ホリスティックケア論 糸島 陽子 前期	...	205
1500843	メンタルヘルスケア/甘佐 京子 通年	...	207
1500844	精神看護学 甘佐 京子 後期	...	209
1500847	精神看護学概論 甘佐 京子 前期後半	...	211
1500941	薬理学 土田 勝晴 前期前半	...	213
1500991	老年看護学概論 平田 弘美 前期前半	...	215
1500992	老年看護学演習 平田 弘美 後期	...	217
1500993	老年臨床看護学/平田 弘美 後期	...	219
1500994	老年臨床看護学演習/平田 弘美 前期	...	221
1500995	老年看護学実習/平田 弘美 通年実習	...	223
1500996	老年臨床看護学実習/平田 弘美 通年実習	...	225
1500997	老年看護学 平田 弘美 後期	...	227
1501043	地域生活実習 平田 弘美 前期実習	...	229
1600581	助産学実習/板谷 裕美 通年実習	...	231
1600611	助産診断・技術学 /古川 洋子 前期集中	...	233
1600621	助産診断・技術学 /古川 洋子 前期集中	...	235
1600631	助産診断・技術学演習/古川 洋子 前期集中	...	237
1600670	基礎助産学 /越山 雅文 前期集中	...	239
1600680	助産診断・技術学 /板谷 裕美 前期集中	...	241
1600690	公衆衛生看護学 馬場 文 前期集中	...	243
1600700	公衆衛生看護管理論 小林 孝子 前期集中	...	245
1600710	健康教育方法演習 小島 亜未 前期集中	...	247
1600720	公衆衛生看護学演習 馬場 文 前期集中	...	249
1600730	公衆衛生看護学実習 小林 孝子 通年実習	...	251
1600740	助産管理/古川 洋子 前期集中	...	253

講義名	英語 A (活性化コース) (看護)						担当教員	鈴木 里奈	
講義コード	1110181	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

この授業では、アメリカ3大ネットワークの1つであるCBSのニュース番組、「CBS Evening News」と「CBS This Morning」を扱ったDVD教材を使用します。社会情勢に加え、食や健康、ハイテク、経済、エンターテインメントなど、アメリカの日常的な話題について学びながら、ナチュラルスピードの英語に親しみます。ニュースを通してグローバルな問題意識を高めつつ、異文化に関する知識を身につけ、それをもとに、アカデミックかつ専門的な活動につながる英語コミュニケーション能力を養うことを目指します。

まずは映像のリスニングと音声シャドーイングの練習を重点的に行い、英語の重要語彙、頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。基礎練習を十分に行った上で、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどの発展的な英語コミュニケーション活動につなげます。語彙力とリスニング力、及び、英語での思考力、スピーキング力を含む実践的な英語運用能力の向上を目標として授業を進めます。

また、TOEICスコア・アップ対策については配布プリントを使用し、演習を行う予定です。

到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 一定の長さの英文を読んで内容を理解し、要約することができる。
- (3) 一定の長さの明瞭な英語を聞いて要点を理解し、要約することができる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標 (2) 「一定の長さの英文を読んで内容を理解し、要約することができる」、到達目標 (3) 「一定の長さの明瞭な英語を聞いて要点を理解し、要約することができる」についてはディクテーション及び穴埋め式試験を実施します。
レポート課題	0	
上記以外	50	到達目標 (1) 「英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる」についてはReview Tests (2回)を実施します。(20%) 到達目標 (4) 「英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるることができる」についてはディスカッション及びブ

1/3以上欠席した場合は評価の対象としません。

授業外学習

自習用の音声ファイルとストリーミング再生を活用し、必ずテキストのPreviewing、DVD Viewingの予習をして授業を受けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	CBS NewsBreak 3	熊井 信弘、Stephen Timson	成美堂	978-4-7919-6033-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (看護)						担当教員	鈴木 里奈	
講義コード	1110182	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

この授業では、アメリカ3大ネットワークの1つであるCBSのニュース番組、「CBS Evening News」と「CBS This Morning」を扱ったDVD教材を使用します。社会情勢に加え、食や健康、ハイテク、経済、エンターテインメントなど、アメリカの日常的な話題について学びながら、ナチュラルスピードの英語に親しみます。ニュースを通してグローバルな問題意識を高めつつ、異文化に関する知識を身につけ、それをもとに、アカデミックかつ専門的な活動につながる英語コミュニケーション能力を養うことを目指します。

まずは映像のリスニングと音声シャドーイングの練習を重点的に行い、英語の重要語彙、頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。基礎練習を十分に行った上で、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどの発展的な英語コミュニケーション活動につなげます。語彙力とリスニング力、及び、英語での思考力、スピーキング力を含む実践的な英語運用能力の向上を目標として授業を進めます。

また、TOEICスコア・アップ対策については配布プリントを使用し、演習を行う予定です。

到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 一定の長さの英文を読んで内容を理解し、要約することができる。
- (3) 一定の長さの明瞭な英語を聞いて要点を理解し、要約することができる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるすることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標 (2) 「一定の長さの英文を読んで内容を理解し、要約することができる」、到達目標 (3) 「一定の長さの明瞭な英語を聞いて要点を理解し、要約することができる」についてはディクテーション及び穴埋め式試験を実施します。
レポート課題	0	
上記以外	50	到達目標 (1) 「英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる」についてはReview Tests (2回)を実施します。(20%) 到達目標 (4) 「英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるることができる」についてはディスカッション及びブ

1/3以上欠席した場合は評価の対象としません。

授業外学習

自習用の音声ファイルとストリーミング再生を活用し、必ずテキストのPreviewing、DVD Viewingの予習をして授業を受けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	CBS NewsBreak 3	熊井 信弘、Stephen Timson	成美堂	978-4-7919-6033-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (看護)						担当教員	鈴木 里奈	
講義コード	1110191	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG101								

授業概要

この授業では、アメリカ3大ネットワークの1つであるCBSのニュース番組、「CBS Evening News」と「CBS This Morning」を扱ったDVD教材を使用します。社会情勢に加え、食や健康、ハイテク、経済、エンターテインメントなど、アメリカの日常的な話題について学びながら、ナチュラルスピードの英語に親しみます。ニュースを通してグローバルな問題意識を高めつつ、異文化に関する知識を身につけ、それをもとに、アカデミックかつ専門的な活動につながる英語コミュニケーション能力を養うことを目指します。

まずは映像のリスニングと音声シャドーイングの練習を重点的に行い、英語の重要語彙、頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。基礎練習を十分に行った上で、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどの発展的な英語コミュニケーション活動につなげます。語彙力とリスニング力、及び、英語での思考力、スピーキング力を含む実践的な英語運用能力の向上を目標として授業を進めます。

また、TOEICスコア・アップ対策については配布プリントを使用し、演習を行う予定です。

到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 一定の長さの英文を読んで内容を理解し、要約することができる。
- (3) 一定の長さの明瞭な英語を聞いて要点を理解し、要約することができる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標 (2) 「一定の長さの英文を読んで内容を理解し、要約することができる」、到達目標 (3) 「一定の長さの明瞭な英語を聞いて要点を理解し、要約することができる」についてはディクテーション及び穴埋め式試験を実施します。
レポート課題	0	
上記以外	50	到達目標 (1) 「英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる」についてはReview Tests (2回)を実施します。(20%) 到達目標 (4) 「英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるることができる」についてはディスカッション及びブ

1/3以上欠席した場合は評価の対象としません。

授業外学習

自習用の音声ファイルとストリーミング再生を活用し、必ずテキストのPreviewing、DVD Viewingの予習をして授業を受けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	CBS NewsBreak 3	熊井 信弘、Stephen Timson	成美堂	978-4-7919-6033-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (看護)						担当教員	鈴木 里奈	
講義コード	1110192	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG102								

授業概要

この授業では、アメリカ3大ネットワークの1つであるCBSのニュース番組、「CBS Evening News」と「CBS This Morning」を扱ったDVD教材を使用します。社会情勢に加え、食や健康、ハイテク、経済、エンターテインメントなど、アメリカの日常的な話題について学びながら、ナチュラルスピードの英語に親しみます。ニュースを通してグローバルな問題意識を高めつつ、異文化に関する知識を身につけ、それをもとに、アカデミックかつ専門的な活動につながる英語コミュニケーション能力を養うことを目指します。

まずは映像のリスニングと音声シャドーイングの練習を重点的に行い、英語の重要語彙、頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。基礎練習を十分に行った上で、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどの発展的な英語コミュニケーション活動につなげます。語彙力とリスニング力、及び、英語での思考力、スピーキング力を含む実践的な英語運用能力の向上を目標として授業を進めます。

また、TOEICスコア・アップ対策については配布プリントを使用し、演習を行う予定です。

到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 一定の長さの英文を読んで内容を理解し、要約することができる。
- (3) 一定の長さの明瞭な英語を聞いて要点を理解し、要約することができる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるすることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標 (2) 「一定の長さの英文を読んで内容を理解し、要約することができる」、到達目標 (3) 「一定の長さの明瞭な英語を聞いて要点を理解し、要約することができる」についてはディクテーション及び穴埋め式試験を実施します。
レポート課題	0	
上記以外	50	到達目標 (1) 「英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる」についてはReview Tests (2回)を実施します。(20%) 到達目標 (4) 「英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べることができる」についてはディスカッション及びブ

1/3以上欠席した場合は評価の対象としません。

授業外学習

自習用の音声ファイルとストリーミング再生を活用し、必ずテキストのPreviewing、DVD Viewingの予習をして授業を受けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	CBS NewsBreak 3	熊井 信弘、Stephen Timson	成美堂	978-4-7919-6033-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Mark Stevens	
講義コード	1110391	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test and a final writing test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Mark Stevens	
講義コード	1110392	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test and a final writing test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (看護)							担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110401	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	101ENG103								

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Written Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Mark Stevens	
講義コード	1110402	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	101ENG104								

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Writing Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110591	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

この授業では、主に医療、看護について書かれた英文の読解力の向上を目標とします。また、それと平行して英語で書かれた物語の読解も行う予定です。授業では、前時に予習を指示した部分の内容の確認、さらにハンドアウトや投げ込み教材に対する受講者の発表とそれに対する指導者のコメント、訂正という形で進めていきます。

到達目標

1. 基本的な医療に関する英文を読んでしっかりと内容を理解することができること。
2. 基本的な医療に関する英文を読んで理解するために必要な語彙を習得すること。
3. 英語の物語をそこに描かれている場面を想像して楽しんで読むことができること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	20%	必ず指定された期間内に提出してください。
上記以外	20%	毎回の物語の内容に関する小テストです。

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に英語の物語の読解が中心になります。時間の許す限り繰り返し読んで内容をしっかりと理解してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Winnie-the-Pooh	A..A.Milne	講談社インターナショナル	4770022948
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特に何かの科目を履修している必要はありませんが、主に看護、医療系の英語を扱いますので、看護学科以外の学生が履修する際にはそのことを了解して履修してください。

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110591	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG201								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/医療英語を学ぶことについて	授業の進め方についての説明など
第2回	医療施設の英語(1)/Pooh (1)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての解説
第3回	医療施設の英語(2)/Pooh (2)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての演習
第4回	診療科の英語(1)/Pooh (3)	物語の読解の演習と診療科の英語(1)
第5回	診療科の英語(2)/Pooh (4)	物語の読解の演習と診療科の英語(2)
第6回	身体の英語(1)/Pooh (5)	物語の読解の演習と身体の英語(1)
第7回	身体の英語(2)/Pooh (6)	物語の読解の演習と身体の英語(2)
第8回	疾患に関する英語(1)/Pooh (7)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(1)
第9回	疾患に関する英語(2)/Pooh (8)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(2)
第10回	入院環境(1)/Pooh (9)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(1)
第11回	入院環境(2)/Pooh (10)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(2)
第12回	患者の観察(1)/Pooh (11)	物語の読解の演習と患者の観察(1)
第13回	患者の観察(2)/Pooh (12)	物語の読解の演習と患者の観察(2)
第14回	慢性期看護(1)/Pooh (13)	物語の読解の演習と慢性期看護(1)
第15回	慢性期看護(2)/Pooh (14)	物語の読解の演習と慢性期看護(2)
第16回	安楽について(1)/Pooh (15)	物語の読解の演習と安楽について(1)
第17回	安楽について(2)/Pooh (16)	物語の読解の演習と安楽について(2)
第18回	移動介助(1)/Pooh (17)	物語の読解の演習と移動介助(1)
第19回	移動介助(2)/Pooh (18)	物語の読解の演習と移動介助(2)
第20回	与薬について(1)/Pooh (19)	物語の読解の演習と与薬について(1)
第21回	与薬について(2)/Pooh (20)	物語の読解の演習と与薬について(2)
第22回	救急看護(1)/Pooh (21)	物語の読解の演習と救急看護(1)
第23回	救急看護(2)/Pooh (22)	物語の読解の演習と救急看護(2)
第24回	周手術期ケアについて(1)/Pooh (23)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(1)
第25回	周手術期ケアについて(2)/Pooh (24)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(2)
第26回	妊娠と出産(1)/Pooh (25)	物語の読解の演習と妊娠と出産(1)
第27回	妊娠と出産(2)/Pooh (26)	物語の読解の演習と妊娠と出産(2)
第28回	小児看護(1)/Pooh (27)	物語の読解の演習と小児看護(1)
第29回	小児看護(2)/Pooh (28)	物語の読解の演習と小児看護(2)
第30回	地域・住宅看護/Pooh (29)/まとめ	物語の読解の演習と地域・住宅看護/授業のまとめ
担当者から一言		

講義名	英語 B (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110592	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

この授業では、主に医療、看護について書かれた英文の読解力の向上を目標とします。また、それと平行して英語で書かれた物語の読解も行う予定です。授業では、前時に予習を指示した部分の内容の確認、さらにハンドアウトや投げ込み教材に対する受講者の発表とそれに対する指導者のコメント、訂正という形で進めていきます。

到達目標

1. 基本的な医療に関する英文を読んでしっかりと内容を理解することができること。
2. 基本的な医療に関する英文を読んで理解するために必要な語彙を習得すること。
3. 英語の物語をそこに描かれている場面を想像して楽しんで読むことができること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	20%	必ず指定された期間内に提出してください。
上記以外	20%	毎回の物語の内容に関する小テストです。

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に英語の物語の読解が中心になります。時間の許す限り繰り返し読んで内容をしっかりと理解してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Winnie-the-Pooh	A. A. Milne	講談社インターナショナル	4770022948
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特に何かの科目を履修している必要はありませんが、主に看護、医療系の英語を扱いますので、看護学科以外の学生が履修するにはそのことを了解して履修してください。

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110592	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG202								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/医療英語を学ぶことについて	授業の進め方についての説明など
第2回	医療施設の英語(1)/Pooh (1)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての解説
第3回	医療施設の英語(2)/Pooh (2)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての演習
第4回	診療科の英語(1)/Pooh (3)	物語の読解の演習と診療科の英語(1)
第5回	診療科の英語(2)/Pooh (4)	物語の読解の演習と診療科の英語(2)
第6回	身体の英語(1)/Pooh (5)	物語の読解の演習と身体の英語(1)
第7回	身体の英語(2)/Pooh (6)	物語の読解の演習と身体の英語(2)
第8回	疾患に関する英語(1)/Pooh (7)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(1)
第9回	疾患に関する英語(2)/Pooh (8)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(2)
第10回	入院環境(1)/Pooh (9)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(1)
第11回	入院環境(2)/Pooh (10)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(2)
第12回	患者の観察(1)/Pooh (11)	物語の読解の演習と患者の観察(1)
第13回	患者の観察(2)/Pooh (12)	物語の読解の演習と患者の観察(2)
第14回	慢性期看護(1)/Pooh (13)	物語の読解の演習と慢性期看護(1)
第15回	慢性期看護(2)/Pooh (14)	物語の読解の演習と慢性期看護(2)
第16回	安楽について(1)/Pooh (15)	物語の読解の演習と安楽について(1)
第17回	安楽について(2)/Pooh (16)	物語の読解の演習と安楽について(2)
第18回	移動介助(1)/Pooh (17)	物語の読解の演習と移動介助(1)
第19回	移動介助(2)/Pooh (18)	物語の読解の演習と移動介助(2)
第20回	与薬について(1)/Pooh (19)	物語の読解の演習と与薬について(1)
第21回	与薬について(2)/Pooh (20)	物語の読解の演習と与薬について(2)
第22回	救急看護(1)/Pooh (21)	物語の読解の演習と救急看護(1)
第23回	救急看護(2)/Pooh (22)	物語の読解の演習と救急看護(2)
第24回	周手術期ケアについて(1)/Pooh (23)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(1)
第25回	周手術期ケアについて(2)/Pooh (24)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(2)
第26回	妊娠と出産(1)/Pooh (25)	物語の読解の演習と妊娠と出産(1)
第27回	妊娠と出産(2)/Pooh (26)	物語の読解の演習と妊娠と出産(2)
第28回	小児看護(1)/Pooh (27)	物語の読解の演習と小児看護(1)
第29回	小児看護(2)/Pooh (28)	物語の読解の演習と小児看護(2)
第30回	地域・住宅看護/Pooh (29)/まとめ	物語の読解の演習と地域・住宅看護/授業のまとめ
担当者から一言		

講義名	英語 A (充実コース) (看護)						担当教員	市場 史哉	
講義コード	1110601	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけでなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各Unitのリスニング問題を行う。 中間テスト 30%

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
中間テスト、期末テストまでにオンライン動画配信サービスを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ABC World News 19	Shigeru Yamane	金星堂	978-4-7647-4031-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (看護)						担当教員	市場 史哉	
講義コード	1110602	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

イギリスのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけでなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各ユニットのリスニング問題を行う。 中間テスト 30%

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
中間テスト、期末テストまでに動画配信サービスを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Seeing the World through the News 4	Timothy Knowles	金星堂	978-4-7647-4032-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (看護)							担当教員	出原 健一
講義コード	1110611	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201ENG201								

授業概要

日常的に頻出する英語表現を用いて英作文の演習を行うことで、英文産出能力を向上させることを目的とする。

到達目標

- (1) 日常的に頻出するフレーズ・構文を習得する。
- (2) 英文を産出する際に最低限必要な文法的知識を身につける。
- (3) 上記(1)(2)を組み合わせることで、適切な英文を産出する能力を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(3)を達成したかを、英作文を中心とした定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	30	各回に扱った内容を習得したか(到達目標(1)(2))を、小テスト(各2点X15回)で評価する。

授業開始後10-20分経過後に入室した際は遅刻とみなし、小テストの最高点を1点とする。それ以降に入室した場合は、小テストの受験資格をはく奪する。

授業外学習

テキストの説明箇所をよく読み、設問を必ず解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	英作文のコア表現180	木塚晴夫	鶴見書店	978-4-7553-0347-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (看護)							担当教員	出原 健一
講義コード	1110612	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	201ENG202								

授業概要

アメリカの報道番組CNNを教材としたテキストを用いて、英文テキストをできる限り正確に読む訓練を行う。知っている単語だけを追い、そこから全体の主旨を推測するという読み方は、時に大きな誤読を引き起こす。これは、コミュニケーションの場においても同様である。このクラスでは、正確な読みに大切な文法や、テキストレベルの英語のルールにも随時触れながら、英文テキストを輪読していく。

到達目標

- (1) 英文の文法構造を正しく捉えられるようになる。
- (2) テキストの論理の流れや大意を理解できるようになる。
- (3) 時事英語で頻出する語彙の習得。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	特に到達目標(1)(2)を達成したかを、テキスト読解を中心とした定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	20	特に到達目標(3)を達成したかを、小テスト(各2点X10回)で評価する。

授業開始後10-20分経過後に入室した際は遅刻とみなし、小テストの最高点を1点とする。それ以降に入室した場合は、小テストの受験資格をはく奪する。

授業外学習

Listening回の際は、各章の最初にあるVocabularyの確認をしておくこと。Reading回の際は、本文の予習をしておくこと。これらを行っていない場合、欠席扱いにする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	CNNビデオで見る世界のニュース(18)	関西大学CNN英語研究会	朝日出版社	978-4-255-15602-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (看護)						担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110801	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

日本語には英語から取り入れられた言葉（外来語）がたくさんあり、なかには日本オリジナルの（日本でしか通じない）和製英語も数多く見られます。英語でコミュニケーションをするうえで、英語と和製英語の区別を知っておく必要があります。本授業では、和製英語ともとの英語の意味を比較することで、英語への理解を深めます。授業では教科書の読解、問題演習に加え、ペアでの音読活動を行い、英語力を総合的に鍛えます。

到達目標

- (1) 英語と和製英語の違いを理解し、伝わる英語を使うことができる。
- (2) 300ワード程度の英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICレベルの語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『ネイティブが気になる日本人の英語』	Mark Thompson / 谷岡敏博	英宝社	978-4-269-66035-9
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ（スマートフォンでも計測機能があればOK）を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (看護)							担当教員	渡 寛法
講義コード	1110802	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

本授業では、会話に焦点を当てた教材をもとに、英語による意思疎通の能力向上を目指します。会話力を伸ばすためには、どう話をスタートさせ、展開・発展させ、終了するか、一連の流れを頭に入れておくことが重要です。そこで授業では、毎回のユニットで取り上げられるコミュニケーション・ストラテジーを学ぶとともに、音読やシャドーイングなどで英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して実践的な活動も行います。会話力アップに向けて、英語の表現や文法だけでなく、英語を聞いて即座に反応できる瞬発力も鍛えていきます。

到達目標

- (1) 英語による効果的な意思疎通の方法(ストラテジー)を理解する。
- (2) まとまりのある会話文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) 英語による意思疎通をスムーズに行うための語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『英語コミュニケーション・ストラテジー』	達川奎三 / Joe Lauer / 山本五郎 著	英宝社	978-4-269-44016-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (看護)							担当教員	渡 寛法
講義コード	1110811	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

日本語には英語から取り入れられた言葉（外来語）がたくさんあり、なかには日本オリジナルの（日本でしか通じない）和製英語も数多く見られます。英語でコミュニケーションをするうえで、英語と和製英語の区別を知っておく必要があります。本授業では、和製英語ともとの英語の意味を比較することで、英語への理解を深めます。授業では教科書の読解、問題演習に加え、ペアでの音読活動を行い、英語力を総合的に鍛えます。

到達目標

- (1) 英語と和製英語の違いを理解し、伝わる英語を使うことができる。
- (2) 300ワード程度の英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICレベルの語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『ネイティブが気になる日本人の英語』	Mark Thompson / 谷岡敏博	英宝社	978-4-269-66035-9
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ（スマートフォンでも計測機能があればOK）を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (看護)							担当教員	渡 寛法
講義コード	1110812	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

本授業では、会話に焦点を当てた教材をもとに、英語による意思疎通の能力向上を目指します。会話を伸ばすためには、どう話をスタートさせ、展開・発展させ、終了するか、一連の流れを頭に入れておくことが重要です。そこで授業では、毎回のユニットで取り上げられるコミュニケーション・ストラテジーを学ぶとともに、音読やシャドーイングなどで英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して実践的な活動も行います。会話力アップに向けて、英語の表現や文法だけでなく、英語を聞いて即座に反応できる瞬発力も鍛えていきます。

到達目標

- (1) 英語による効果的な意思疎通の方法(ストラテジー)を理解する。
- (2) まとまりのある会話文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) 英語による意思疎通をスムーズに行うための語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『英語コミュニケーション・ストラテジー』	達川奎三 / Joe Lauer / 山本五郎 著	英宝社	978-4-269-44016-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (看護)						担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1110821	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG203								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Picture Test (4 pictures, each 25%). Each Speaking Objective is worth 25%. Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in four Action English pictures that we studied in the class.
レポート課題		
上記以外	50	25% Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.

授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying the Action English Pictures (4 hours). Read a movie textbook (7 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (看護)						担当教員	Walter Klinger	
講義コード	1110822	単位数	1	開講期	後期	授業種別			演習
ナンバリング番号	201ENG204								

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as card games and TV comedy skits. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Final Test: Storyline and Question Spiral. Show and read your writing to the teacher. Same grading as mid-term test.
レポート課題		
上記以外	50	25% Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.

授業外学習

宿題 Homework: One hour per week. Write and read aloud your summer holiday essay (4 hours). Write and read aloud your Storyline and Question Spiral topics (4 hours) for the Final Test. Read a movie textbook from the library (7 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

handouts

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（看護a）							担当教員	中川 雅央
講義コード	1130070	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	1011NF102								

授業概要

大学生活をしていく上で情報リテラシーを習得しておくことは必須である。そこで、当授業では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされるスキルを習得するとともに情報倫理・情報セキュリティについても学ぶ。情報の取捨選択、文献検索、論理思考、文章構成、表計算、プレゼンテーションなどの基本的な手法を習得するためにコンピュータを用いた実習形式で授業を進めていく。

到達目標

- (1) 情報倫理の理解と行動ができ、メールやウェブなどの情報技術を活用して図書・文献や学術情報の取捨選択ができる。
- (2) 情報技術を活用して、種々の情報を加工・文章化・可視化・表現・発表することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	100	レポート課題100%で評価する。内訳は次の通りである。 到達目標の(1)は30%、(2)は70%で評価する。
上記以外	0	

授業外学習

Word, Excel, PowerPoint の操作方法については各自で習得しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて担当教員から講義資料を配布する。

前提学力等

情報検索、メールコミュニケーション、文書作成、表計算などの基本的なコンピュータ操作ができること。

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(看護b)						担当教員	中川 雅央	
講義コード	1130080	単位数	2	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号	1011NF102								

授業概要

大学生活をしていく上で情報リテラシーを習得しておくことは必須である。そこで、当授業では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされるスキルを習得するとともに情報倫理・情報セキュリティについても学ぶ。情報の取捨選択、文献検索、論理思考、文章構成、表計算、プレゼンテーションなどの基本的な手法を習得するためにコンピュータを用いた実習形式で授業を進めていく。

到達目標

- (1) 情報倫理の理解と行動ができ、メールやウェブなどの情報技術を活用して図書・文献や学術情報の取捨選択ができる。
- (2) 情報技術を活用して、種々の情報を加工・文章化・可視化・表現・発表することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	100	レポート課題100%で評価する。内訳は次の通りである。 到達目標の(1)は30%、(2)は70%で評価する。
上記以外	0	

授業外学習

Word, Excel, PowerPoint の操作方法については各自で習得しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて担当教員から講義資料を配布する。

前提学力等

情報検索、メールコミュニケーション、文書作成、表計算などの基本的なコンピュータ操作ができること。

履修資格

講義名	情報科学概論（看護a）							担当教員	中川 雅央
講義コード	1130180	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	1011NF101								

授業概要

わたしたちの暮らしの中で様々な形で利用されている情報を科学的に捉えるための方法とは何か、その基本的な方法論を学ぶ。特に高年次での講義や演習及び実習が必要となる統計処理の手法を中心とした内容で、レポート作成や研究活動に必要な基本的な統計的手法について、コンピュータを用いた実習形式で授業を進める。

到達目標

- (1) 得られたデータを要約して基本統計量を記述することができる。
- (2) 得られたデータから母集団の母数推定および仮説検定ができる。
- (3) 2変量データの相関分析および単回帰分析ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	課題レポート100%で評価する。内訳は次の通りである。到達目標の(1)は20%、(2)は40%、(3)は40%で評価する。
上記以外		

授業外学習

授業で示す実習課題を通して統計学に関する予習復習をすることで理解をより深めてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	最新 保健学講座6 疫学 / 保健統計	丸井英二 編	メヂカルフレンド社	978-4-8392-2184-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelなど表計算アプリによる情報処理ができること。

履修資格

講義名	情報科学概論（看護b）							担当教員	中川 雅央
講義コード	1130190	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	1011NF101								

授業概要

わたしたちの暮らしの中で様々な形で利用されている情報を科学的に捉えるための方法とは何か、その基本的な方法論を学ぶ。特に高年次での講義や演習及び実習が必要となる統計処理の手法を中心とした内容で、レポート作成や研究活動に必要な基本的な統計的手法について、コンピュータを用いた実習形式で授業を進める。

到達目標

- (1) 得られたデータを要約して基本統計量を記述することができる。
- (2) 得られたデータから母集団の母数推定および仮説検定ができる。
- (3) 2変量データの相関分析および単回帰分析ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	課題レポート100%で評価する。内訳は次の通りである。到達目標の(1)は20%、(2)は40%、(3)は40%で評価する。
上記以外		

授業外学習

授業で示す実習課題を通して統計学に関する予習復習をすることで理解をより深めてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	最新 保健学講座6 疫学 / 保健統計	丸井英二 編	メヂカルフレンド社	978-4-8392-2184-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelなど表計算アプリによる情報処理ができること。

履修資格

講義名	人間探求学(人間看護)						担当教員	学科教員/甘佐 京子/荒川 千登世/ 伊丹 君和/板谷 裕美/伊藤 あゆみ/ 糸島 陽子/大脇 万起子/川端 智子/ 川端 愛野/喜多下 真里/窪田 好恵/ 河野 益美/古株 ひろみ/越山 雅文/ 小林 孝子/大門 裕子/濱野 裕華/ 馬場 文/平田 弘美/古川 洋子/	
講義コード	1150340	単位数	2	開講期	前期	授業種別			講義
ナンバリング番号	101HUM101								

授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。
授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ(5~6名)に分け、担当教員が割り当てられる。

到達目標

- (1) 自ら探求したテーマについて、論理的にレポートできる
(2) 探求したことや自らの考えについて、プレゼンテーションによって他者にわかりやすく説明することができる *残り(3)は追加情報に掲載

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	取り上げたテーマに関して、図書情報センター等を利用し必要な文献等を探求することができる。引用文献・参考文献等を明示し、自らの意見と区別して論じることができる。 根拠に基づき、論理的な説明ができています。誤字・脱字がなく、章や段落が明確で読みやすい文章となっている。
上記以外	80	プレゼンテーション作成に向けて、主体的・積極的に学び取り組む姿勢がみられる。発表では、聴衆・受け手の関心・注意を引いてアピールすることができる。スライド画面の構成や、文字、図表が明瞭で工夫されている。 根拠に基づき、論理的な説明ができています。他者の考えを理解し尊重した上で、的確に質問に答えることができている。

*なお、出欠および遅刻/早退は減点方式とし、1回欠席で-8点、遅刻/早退は-4点とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介、または資料配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	育成看護論/							担当教員	古川 洋子 / 板谷 裕美
講義コード	1500010	単位数	2	開講期	後期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

この講義では、母性看護に関連する諸概念、人の性と生殖のメカニズムとその意義、母性保健の動向や母子保健施策について理解し、母性看護の役割や機能を学びます。
女性のライフサイクル各期における母性の特徴とそれに対応した看護を学習します。
女性のセクシャリティとリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する主要な健康課題の特徴とそれに対応した看護を学んでいきます。

到達目標

- (1) . 母性看護に関連する諸概念と母性看護の役割が理解できる。
- (2) . 母性を取り巻く環境、母子保健の動向と施策が理解できる。
- (3) . 女性のライフステージやライフサイクル各期における母性の特徴とそれに対応した看護が理解できる。
- (4) . セクシャリティとリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する主要な健康課題の特徴とそれに対応した看護が理解できる。
- (5) . 人の性と生殖のメカニズムとその意義が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	定期試験と観察法として授業終了後のレスポンスペーパーで評価を行う。 目標 1 ~ 5、各 20%とする。
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学〔1〕	森 恵美 ほか	医学書院	978 - 4 - 260 - 02188 - 3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学〔2〕	森 恵美 ほか	医学書院	978 - 4 - 260 - 02179 - 1
2				
3				

参考書等は、講義の中で適宜伝えていきます。

前提学力等

履修資格

講義名	育成看護論演習 /							担当教員	古川 洋子 / 越山 雅文 / 渡邊 友美子
講義コード	1500045	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

この講義では、妊娠・分娩・産褥・新生児期の周産期を中心とした、各期の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、母子とその家族のウェルネスに向けた看護を展開していく上で必要とされる基礎的知識を学習していきます。

到達目標

- (1) . 妊娠期にある対象の身体的、心理的、社会的特徴が理解できる。
- (2) . 分娩期にある対象の身体的、心理的、社会的特徴が理解できる。
- (3) . 産褥期にある対象の身体的、心理的、社会的特徴が理解できる。
- (4) . 新生児期にある対象の生理的变化と適応過程が理解できる。
- (5) . 周産期にある対象の起こりやすい異常と看護が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	定期試験と講義終了後のレスポンスペーパーで総合的に評価する。 目標 1 ~ 5、各 20% の配分、合計 100% とする。
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学〔2〕	森 恵美 ほか	医学書院	978 - 4 - 260 - 02179 - 1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学〔1〕	森 恵美 ほか	医学書院	978 - 4 - 260 - 02188 - 3
2				
3				

適宜講義中に紹介します。

前提学力等

履修要件は、育成看護論、あるいは母性看護学概論を履修していること

履修資格

講義名	育成看護論演習 /						担当教員	渡邊 友美子 / 板谷 裕美 / 濱野 裕華 / 堀内 遥子 / 未定*	
講義コード	1500047	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号									

授業概要

周産期において正常な経過における母子および家族の特徴を理解した上で、看護過程の展開を実施し、基礎的な看護技術について学ぶ。

到達目標

- (1) 周産期において正常な経過にある母子および家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、それらを関連付けて説明することができる。
- (2) 周産期にある母子および家族の看護目標・看護の方向性を説明できる。
- (3) 周産期にある母子および家族の看護過程の展開を実施し、看護計画を立案することができる。
- (4) 周産期にある母子への基本的な看護技術が習得できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) (2) については、定期試験にて評価する。
レポート課題	35	(2) (3) については、妊娠期・産褥期の看護過程の記録にて評価する。
上記以外	15	(4) については、レスポンスペーパーの記載にて評価する。

上記の合計を100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
3分の1以上の欠席した場合は評価対象外とする。

授業外学習

育成看護論、育成看護論演習 の内容を復習する。
授業内容は教科書等を用いて予習・復習する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学	森恵美 他	医学書院	978-4-260-01374-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ウェルネスから見た母性看護過程	佐世正勝	医学書院	978-4-260-01536-9
2				
3				

必要時、プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	育成看護論実習/							担当教員	古川 洋子 / 板谷 裕美 / 濱野 裕華 / 堀内 遥子 / 未定 * / 渡邊 友美子
講義コード	1500051	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

周産期における女性と子どもおよび家族の身体的、心理的、社会的特徴を総合的に理解し、母性看護が実践できる能力を養うことを目的に実習を行う。

到達目標

- (1) 対象とのかかわりを通して、周産期における対象の特性を総合的に理解できる
- (2) 対象の看護上の問題および課題を明確にし、看護援助を実践することができる
- (3) 生命の神秘・尊厳について理解を深め、周産期間後の役割・機能について学ぶことができる
- (4) 看護者の一員として責任ある行動をとり、主体性と協調性を持って実習に取り組むことができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習到達目標達成状況で評価する。 到達目標(1)実習記録、面接法24%、(2)実習記録、観察法40%、(3)実習記録、面接法15%、(4)実習記録、観察法21%

育成看護論実習実習要項の評価及び評価基準の項を参照すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護過程(第2版)	佐世正勝 / 石村由利子編集	医学書院	978 - 4 - 260 - 02563 - 9
2	母性看護技術(第2版)	石村由利子編集	医学書院	978 - 4 - 260 - 02499 - 0
3	新生児学入門(第4版)	仁志田博司	医学書院	978 - 4 - 260 - 01433 - 5

授業で使用した資料や参考図書等

前提学力等

履修資格

講義名	母性看護学概論							担当教員	古川 洋子 / 板谷 裕美
講義コード	1500061	単位数	1	開講期	後期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR227-C								

授業概要

母性看護に関連する諸概念、人の性と生殖のメカニズムとその意義、母性保健の動向や母子保健施策について理解し、母性看護の役割や機能を学ぶ。また、女性のライフサイクル各期における母性の特徴とそれに対応した看護を学習する。女性のセクシャリティとリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する主要な健康課題の特徴と看護を学ぶ。

到達目標

- (1) . 母性看護に関連する諸概念と母性看護の役割が理解できる。
- (2) . 母性を取り巻く環境、母子保健の動向と施策が理解できる。
- (3) . 女性のライフステージやライフサイクル各期における母性の特徴とそれに対応した看護が理解できる。
- (4) . セクシャリティとリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する主要な健康課題の特徴とそれに対応した看護が理解できる。
- (5) . 人の性と生殖のメカニズムとその意義が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	定期試験と講義終了後のレスポンスペーパーにて総合的に評価する。 到達目標(1)20%、(2)20%、(3)20%、(4)20%、(5)20%
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学〔1〕	森 恵美 ほか	医学書院	978 - 8 - 260 - 02188 - 3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学〔2〕	森 恵美 ほか	医学書院	978 - 4 - 260 - 0219 - 1
2				
3				

講義中適宜紹介します

前提学力等

履修資格

講義名	母性看護学							担当教員	古川 洋子 / 越山 雅文 / 堀内 遥子
講義コード	1500062	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR228								

授業概要

妊娠・分娩・産褥・新生児期の周産期を中心とした、各期の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、母子とその家族のウェルネスに向けた看護を展開していく上で必要とされる基礎的知識を学習する。

到達目標

1. 妊娠期にある対象の身体的、心理的、社会的特徴が理解できる。
2. 分娩期にある対象の身体的、心理的、社会的特徴が理解できる。
3. 産褥期にある対象の身体的、心理的、社会的特徴が理解できる。
4. 新生児期にある対象の生理的变化と適応過程が理解できる。
5. 周産期にある対象の起こりやすい異常と看護が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標1(20%) 到達目標2(20%) 到達目標3(20%)
レポート課題		
上記以外		

1/3以上欠席した場合は評価対象外とする。

授業外学習

「体の仕組みと機能 . . .」の女性生殖器の形態と機能、母性看護学概論を事前学習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学各論	森恵美他	医学書院	978 - 4 - 260 - 01374 - 1
2				
3				

系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論第11版(医学書院) 第1回目の講義までに準備しておくこと

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適時紹介する

前提学力等

母性看護学概論を履修していることが望ましい

履修資格

講義名	疫学						担当教員	未定*	
講義コード	1500080	単位数	2	開講期	後期	授業種別			
ナンバリング番号	241NUR325								

授業概要

疫学は、命や健康を守るための理論を構築するために必須の学問体系である。しかし、日本の看護学教育の中では概して軽視される傾向にあった。それが日本の医療現場の疲弊にもつながっているとも指摘されている。そこで、まず事象を正確に、広い視野からみる技術、そのデータを歪みなく分析する技術、そして、得られた知見を実際に応用しその結果を検証する技術など、疫学の基礎を学ぶ。講義では、疫学がどのように現場で応用され、社会に役立っているかをできるだけ身近な例をもとに演習的に学ぶ。

到達目標

- (1)疫学的研究方法（横断研究・縦断研究・症例対照研究・介入研究）について理解し、学術論文をcriticalに読む力を身につける。
- (2)疫学の導き出した健康に関する多くのエビデンスを知り、人々の命や健康に役立てる礎をつくる。
- (3)保健統計の用語などの意味や重要性などを理解する。
- (4)多様な医療統計技法に触れ、科学的論考につながる視点をもつ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	用語の意味を理解し、データを分析し読み取る能力
レポート課題	30	テーマに沿った演習課題について適切に処理し、まとめる能力
上記以外		

授業外学習

なるべく分からないままで講義を終わらないで、講義中に質問して解決すること。疫学は暗記する学問ではなく考える学問であるので、講義中にしっかり考えられるように予習、復習をすすめる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健学講座別巻2 疫学・保健統計学	牧本清子 他	医学書院	978-4-260-00751-1
2				
3				

初回授業に必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

統計の用語について基礎知識を有することが望ましい。

履修資格

講義名	エンドオブライフケア演習							担当教員	糸島 陽子 / 伊藤 あゆみ
講義コード	1500081	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	341NUR303								

授業概要

エンドオブライフにある人々の全人的苦痛と家族（重要他者）が抱える苦悩を知り、エンドオブライフケアを展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。また、エンドオブライフケアを学ぶ中で、自己の死生観について考え、死に逝く人々とその家族に向き合える基本的態度を養う。

到達目標

- (1) エンドオブライフにある人々と家族（重要他者）に対する苦痛緩和のための基本的な看護が理解できる。
- (2) エンドオブライフにある人々と家族（重要他者）に対する深い洞察力、悲嘆などの感情に寄り添う態度を養うことができる。
- (3) エンドオブライフケアを実践するチーム医療、多職種と協働する姿勢、エンドオブライフケアを実践する医療者の役割と責任を理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(1) 60%
レポート課題	20%	到達目標(2) 10% 到達目標(3) 10%
上記以外	20%	技術演習 到達目標(2) 10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NANDA-I 看護診断 定義と分類 2015-2017	T.ヘザー・ハードマン, 上鶴重美	医学書院	978-4-260-02088-6
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく 看護過程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	978-4-86174-033-6
3	江川隆子のかみくだき看護診断	江川隆子	日総研出版	978-4-7760-1517-8

前提学力等

成人臨床看護学を履修していること

履修資格

講義名	エンドオブライフケア実習							担当教員	伊藤 あゆみ / 生田 宴里 / 糸島 陽子 / 喜多下 真里 / 大門 裕子 / 中川 美和
講義コード	1500082	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	341NUR306								

授業概要

エンドオブライフにある人々の身体的・精神的・社会的・霊的特徴、および、その家族（重要他者）の特徴を統合的に理解して、エンドオブライフケアを実践するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。また、エンドオブライフにある人々とその家族との出会いをとおして、人間の尊厳、QOL、生と死について洞察し、自己の死生観と看護観（感）を養う。

到達目標

- (1) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)を、全人的に理解できる。
- (2) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)の意思を尊重した援助的人間関係を樹立できる。
- (3) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)の「苦痛」に関連した主観的・客観的情報を、論理的・科学的にアセスメントし、個別的な看護計画が立案できる。
- (4) 受け持ち患者の意思を尊重しながら、安全かつ安楽な方法で苦痛緩和を目指した看護を実施できる。
- (5) 実施した看護に対し、客観的に評価できる。
- (6) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)の援助をとおして、緩和ケアチームの一員として、連携の重要性が理解でき、チームメンバーとしての自己の役割・責任にもとづく行動がとれる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標について、下記項目から総合的に評価する。 1) 実習記録

成績評価の詳細は、「エンドオブライフケア実習評価表」を参照すること。
単位認定には、すべての到達目標で「レベル2（可）」以上を必要とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

3年前期までの専門科目（実習を含む）・専門基礎科目における必修科目の単位をすべて修得

履修資格

講義名	家族看護学							担当教員	大脇 万起子
講義コード	1500083	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR320								

授業概要

家族を単に対象者を取り巻く背景として捉えるのではなく、家族機能をシステムとして捉え、個人及びその家族が持っているセルフケア能力を高める援助の方法について論じる。
さらに、家族のライフサイクルの段階に応じた発達課題、直面する危機や健康問題に対する援助のあり方を講義およびグループワーク（事例検討、事例作成・役割演技）を通して学ぶ。

到達目標

- (1) 家族看護に関する主な理論やモデルについて理解する。
- (2) 家族看護過程（アセスメント・診断・計画・方法・評価）に関する基本的な知識を習得する。
- (3) 患者家族と向き合うための基本的な姿勢・コミュニケーション技術を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	1. 到達目標(1)・(2)（各30%、計60%）に関して実施。 詳細はルーブリック（添付文書）に記載。
レポート課題	15%	1. 到達目標(3)（15%）に関して実施。 詳細はルーブリック（添付文書）に記載。
上記以外	25%	1. ショートカード（毎回提出） 到達目標(1)・(2)・(3)（各5%、計15%）に関して実施 2. グループワーク評価

授業外学習

宿題および小試験はありませんが、授業でのグループ学習やレポート作成を円滑にするため、個人およびグループでの予習・復習を積極的にお願いたします。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	家族看護学	山崎あけみ・原礼子	南江堂	978-4-524-25708-9
2				
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	癒しのための家族看護モデル 病いと苦悩、スピリチュアリティ	森山 美知子 他 訳	医学書院	978-4260000949
2	ピリーフ 家族看護実践の新たなパラダイム	杉下知子 他 訳	日本看護協会出版会	978-4818009165
3	新しい家族看護学 理論・実践・研究	法橋尚宏 他	メヂカルフレンド社	978-4839213558

上記以外については、配布プリントの中で紹介する。

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	体のしくみと機能 /							担当教員	安原 治
講義コード	1500100	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

人体のしくみと機能に関する知識は看護学を習得するための重要な基礎となる。本講は、人体の構造（解剖学）とその機能（生理学）を統合的に学ぶことを目的とする。正常な構造と機能の理解は疾患や障害の理解に必須であり、看護を含むすべての医療行為に不可欠である。本講では、人体の各器官系について、発生と関連づけながら個々の細胞・組織・器官とその機能に関する内容を取り上げ、個々の知識を人体の全体像と関連付けて理解することを目指す。また、臨床と関連づけて学ぶことにより、生きた解剖生理学の知識が定着するよう講義する。解剖生理学Iでは、1)解剖生理学の全体像を概説し、続いて2)消化器系、3)呼吸器系、4)循環器系、5)血液について学ぶ。

到達目標

- (1) 細胞、細胞内小器官、組織の構造を説明できる。
- (2) 各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。
- (3) 人体の機能を構造に関連づけて説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	選択問題 25問 (2点 X 25 = 50) 記述問題 2問 (10点 X 2 = 20)
レポート課題	10	正確な記述を重視する
上記以外	20	小試験 記述問題 2問 (10点 X 2 = 20) あらかじめ課題を10題前後提示して、その中から2問を出題する。

授業外学習

次回講義内容の教科書の通読は少なくとも行うこと。
学期途中にレポート1回の提出を求め、小試験を1回行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 解剖生理学	坂井建雄・岡田隆夫	医学書院	9784260018265
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校生物を理解していることが望ましい

履修資格

講義名	解剖生理学							担当教員	安原 治
講義コード	1500105	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR201								

授業概要

人体のしくみと機能に関する知識は看護学を習得するための重要な基礎となる。本講は、人体の構造（解剖学）とその機能（生理学）を統合的に学ぶことを目的とする。正常な構造と機能の理解は疾患や障害の理解に必須であり、看護を含むすべての医療行為に不可欠である。本講では、人体の各器官系について、発生と関連づけながら個々の細胞・組織・器官とその機能に関する内容を取り上げ、個々の知識を人体の全体像と関連付けて理解することを目指す。また、臨床と関連づけて学ぶことにより、生きた解剖生理学の知識が定着するよう講義する。解剖生理学Iでは、1)解剖生理学の全体像を概説し、続いて2)消化器系、3)呼吸器系、4)循環器系、5)血液について学ぶ。

到達目標

- (1) 細胞、細胞内小器官、組織の構造を説明できる。
- (2) 各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。
- (3) 人体の機能を構造に関連づけて説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	選択問題 25問 (2点 X 25 = 50) 記述問題 2問 (10点 X 2 = 20)
レポート課題	10	正確な記述を重視する
上記以外	20	小試験 記述問題 2問 (10点 X 2 = 20) あらかじめ課題を10題前後提示して、その中から2問を出題する。

授業外学習

次回講義内容の教科書の通読は少なくとも行うこと。
学期途中にレポート1回の提出を求め、小試験を1回行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 解剖生理学	坂井建雄・岡田隆夫	医学書院	9784260018265
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校生物を理解していることが望ましい

履修資格

講義名	体のしくみと機能 /							担当教員	安原 治 / 越山 雅文
講義コード	1500110	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

解剖生理学(Ⅰ)に引き続き、人体の構造(解剖学)とその機能(生理学)を統合的に学ぶ。本講では、泌尿器系、内分泌系、運動器系、神経系、感覚器系、生殖器系を取り上げ、外的環境への適応、内的環境の維持調節、生殖のしくみを中心に学ぶ。また、老化、疾患についても触れる。さらに、解剖見学実習を通して、人体の構造を自らの眼と手で学ぶとともに、献体していただいた故人の崇高な意思を感じ取る。

到達目標

- (1) 各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。
- (2) 人体の機能を構造に関連づけて説明できる。
- (3) 人体の発生、成長、成熟、老化の概要を説明できる。
- (4) 解剖見学実習を通して、人体の構造を自らの眼と手で学ぶとともに、献体していただいた故人の崇高な意思を感じ取る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	選択問題 25問(2点X25 =50) 記述問題 2問(10点X2 =20)
レポート課題	10	2回(うち1回は解剖見学レポート) 1回5点
上記以外	20	小試験 選択問題 20問(1点X20 =20)

授業外学習

次回講義内容の教科書の通読は少なくとも行うこと。学期中に2回のレポート提出(うち1回は解剖見学実習レポート)を求め、1回の小試験を予定している。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 解剖生理学	坂井建雄・岡田隆夫	医学書院	9784260018265
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラー神経解剖学	ハル・ブルーメンフェルト	西村書店	978-4890134663
2				
3				

前提学力等

高校生物を理解していることが望ましい

履修資格

講義名	解剖生理学							担当教員	安原 治 / 越山 雅文
講義コード	1500115	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR202								

授業概要

解剖生理学(Ⅰ)に引き続き、人体の構造(解剖学)とその機能(生理学)を統合的に学ぶ。本講では、泌尿器系、内分泌系、運動器系、神経系、感覚器系、生殖系を取り上げ、外的環境への適応、内的環境の維持調節、生殖のしくみを中心に学ぶ。また、老化、疾患についても触れる。さらに、解剖見学実習を通して、人体の構造を自らの眼と手で学ぶとともに、献体していただいた故人の崇高な意思を感じ取る。

到達目標

- (1) 各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。
- (2) 人体の機能を構造に関連づけて説明できる。
- (3) 人体の発生、成長、成熟、老化の概要を説明できる。
- (4) 解剖見学実習を通して、人体の構造を自らの眼と手で学ぶとともに、献体していただいた故人の崇高な意思を感じ取る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	選択問題 25問(2点X25 =50) 記述問題 2問(10点X2 =20)
レポート課題	10	2回(うち1回は解剖見学レポート) 1回5点
上記以外	20	小試験 選択問題 20問(1点X20 =20)

授業外学習

次回講義内容の教科書の通読は少なくとも行うこと。学期中に2回のレポート提出(うち1回は解剖見学実習レポート)を求め、1回の小試験を予定している。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 解剖生理学	坂井建雄・岡田隆夫	医学書院	9784260018265
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラー神経解剖学	ハル・ブルーメンフェルト	西村書店	978-4890134663
2				
3				

前提学力等

高校生物を理解していることが望ましい

履修資格

講義名	体のしくみと機能 /							担当教員	若林 保良
講義コード	1500120	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

生化学は、生命を体内の化学物質の変化と流れ(これを「物質代謝」という)、として理解し研究する分野です。皆さんも「物質代謝」を見る目で人間を理解し、健康や病気を「物質代謝」の変化として理解することを目指してください。最初に体を作る化学物質(生体分子)の形と性質を学びます。次にそれを維持するのに必要な、代謝経路とその調節を学びます。まず生体分子の合成と分解に中心的な役割を持つ酵素を学んだ後、エネルギーの担い手ATP、糖質、脂質、アミノ酸、ヌクレオチドの合成と分解について学びます。遺伝子の複製と発現、タンパク質の合成と調節についても学習します。ホルモンや増殖因子などについても紹介します。講義は教科書に沿って重要なポイントを中心に説明する形式でおこないます。患者さんから質問された時答えられる、身についた知識が目標です。予習復習が絶対に必要です。授業内容は進行状況に応じて変更することもあります。

到達目標

(1)食品の持つカロリーには血糖を上昇させるものとそうでないものがある。(2)ビタミンDやナイアシンは人体で作ることのできるビタミンである。(3)プロスタグランジンは発熱や頭痛の原因物質である。(4)抗がん剤にはヌクレオチドや核酸の合成を邪魔するものが多い。(5)善玉コレステロールと悪玉コレステロールの役割を患者に説明できる。(6)運動しないと太るのはなぜ。(7)両親媒性物質が細胞の形を作る。(8)酵素活性の調節の仕方を説明できる。(9)ビタミンの役割を説明できる。(10)ケトン体の合成が増えるのはどのような時か。などを患者さんに説明できるようになります。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	筆記テストを行います。再試験はおこないません。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

講義が始まる前に、教科書か下記参考書のどれかに短時間で良いので目を通して見て、どの様な用語が出てくるのか調べておいて下さい。参考書はいずれも初学者に好評です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生化学 人体の構造と機能 2 (系統看護学講座 専門基礎分野)	三輪 一智	医学書院	978-4260018364
2				
3				

生協に発注してありますので、初回授業には必ず持参して下さい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	亀田講義ナマ中継 生化学 (わかりすぎてヤバい!)	亀田 和久	講談社	978-4061562547
2	これだけ! 生化学	稲垣賢二 監修	秀和システム	978-4798042268
3				

前提学力等

原子、分子、電子、化学結合、酸化と還元、細胞の構造など、高校の化学や生物の教科書の最初の2,3ページに書かれている基本的な事項については必ず自習しておいて下さい。

履修資格

講義名	看護英語							担当教員	安原 治 / 大脇 万起子 / 平田 弘美
講義コード	1500121	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR328								

授業概要

看護師という職業は、その専門性の高さから、日本だけでなく海外でも活躍の場が広がっている。また、社会の国際化に伴って、日本国内でも今後ますます看護英語が重要になっていくものと思われる。本講義では、これまでに学んできた英語と看護学の知識を基盤にして、入院から退院まで、看護現場で用いられる臨床看護英語の基礎を学ぶとともに、海外留学体験の講義、米国大学生との交流、映画、国際模擬学会などを通じて看護英語の実際に触れる。

到達目標

- (1) 看護に必要な基礎的な英語医学用語を修得する。
- (2) 実際の医療現場における会話 (CD, DVD) や米国大学生との交歓会などを通して、生きた英語表現を学ぶ。
- (3) 海外留学体験の講義や模擬国際学会を通して、国際的な活動に目を向け、視野を広げる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	プレゼンテーション用のパワーポイント資料の提出を求める。
上記以外	770	1) JCMU交流会でのグループプレゼンテーションやグループディスカッションを評価する (40) 2) 「英語で問診」に関するミニテストを行う (30)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	医学英単語	富田りか	シナジー	978-4-916166-21-0
2	Cambridge English for Nursing	V. Allum, P. McGarr	Cambridge Univ. Press	978-0-521-14133-8
3				

必要に応じてプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	看護介入とアウトカム/							担当教員	横井 和美
講義コード	1500122	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

E B N (Evidence Based Nursing) の考え方に基づく看護介入の方法を抽出し、アウトカム設定の考え方や評価方法について、看護診断過程の視点から考察する。また、看護活動のみならず保健師・助産師活動においても生かせる新たな看護介入方法の研究・開発について展望する。

到達目標

- (1) 看護介入におけるエビデンスの必要性について理解できる。
(2) 看護アウトカムの測定に使用される尺度の利点と限界について検討することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッション、プレゼンテーションの参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護のエビデンス	川島みどり、黒田裕子	中山書店	4-51-21-01941-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護アウトカムの測定	井部俊子 監修	エンゼピア・ジャパン	4-86034-879-6
2				
3				

前提学力等

各論実習を履修した4年時以降の履修が望ましい。

履修資格

講義名	生化学							担当教員	若林 保良
講義コード	1500125	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR203								

授業概要

生化学は、生命を体内の化学物質の変化と流れ（これを「物質代謝」という）、として理解し研究する分野です。皆さんも「物質代謝」を見る目で人間を理解し、健康や病気を「物質代謝」の変化として理解することを目指してください。最初に体を作る化学物質（生体分子）の形と性質を学びます。次にそれを維持するのに必要な、代謝経路とその調節を学びます。まず生体分子の合成と分解に中心的な役割を持つ酵素を学んだ後、エネルギーの担い手ATP、糖質、脂質、アミノ酸、ヌクレオチドの合成と分解について学びます。遺伝子の複製と発現、タンパク質の合成と調節についても学習します。ホルモンや増殖因子などについても紹介します。講義は教科書に沿って重要なポイントを中心に説明する形式でおこないます。患者さんから質問された時答えられる、身についた知識が目標です。予習復習が絶対に必要です。授業内容は進行状況に応じて変更することもあります。

到達目標

(1)食品の持つカロリーには血糖を上昇させるものとそうでないものがある。(2)ビタミンDやナイアシンは人体で作ることのできるビタミンである。(3)プロスタグランジンは発熱や頭痛の原因物質である。(4)抗がん剤にはヌクレオチドや核酸の合成を邪魔するものが多い。(5)善玉コレステロールと悪玉コレステロールの役割を患者に説明できる。(6)運動しないと太るのはなぜ。(7)両親媒性物質が細胞の形を作る。(8)酵素活性の調節の仕方を説明できる。(9)ビタミンの役割を説明できる。(10)ケトン体の合成が増えるのはどのような時か。などを患者さんに説明できるようになります。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	筆記テストを行います。再試験はおこないません。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

講義が始まる前に、教科書か下記参考書のどれかに短時間で良いので目を通して見て、どの様な用語が出てくるのか調べておいて下さい。参考書はいずれも初学者に好評です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生化学 人体の構造と機能 2 (系統看護学講座 専門基礎分野)	三輪 一智	医学書院	978-4260018364
2				
3				

生協に発注してありますので、初回授業には必ず持参して下さい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	亀田講義ナマ中継 生化学 (わかりすぎてヤバい!)	亀田 和久	講談社	978-4061562547
2	これだけ！生化学	稲垣賢二 監修	秀和システム	978-4798042268
3				

前提学力等

原子、分子、電子、化学結合、酸化と還元、細胞の構造など、高校の化学や生物の教科書の最初の2,3ページに書かれている基本的な事項については必ず自習しておいて下さい。

履修資格

講義名	看護管理論/							担当教員	窪田 好恵 / 米田 照美
講義コード	1500140	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

看護の対象者に質の高いサービスを提供できるマネジメント能力は、すべての看護者に要求されることを認識し、良いチームワークで看護ができるよう、看護者が持てる能力や技術を十分活用（人的資源）することの必要性について概説する。また、物的資源、財的資源を有効活用していく過程（ケアの質的評価を含む）についても学ぶ。看護の対象者に質の高いケアを提供するとともに安全を保证するための組織・体制や看護専門職の機能・役割が十分発揮できるようにする看護管理の役割について考察する。

到達目標

- (1) 現代の保健医療福祉サービスを取り巻く現状をふまえて、看護管理を学ぶ意義を説明できる。
- (2) 看護管理の対象、組織とマネジメントについて記述できる。
- (3) よりよいケアを行うための管理の機能としての看護サービスやケアの変革について説明できる。
- (4) 看護管理のスキルとしての人間関係構築やリーダーシップについて説明できる。
- (5) 病院の組織と人材育成、看護と経営について述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標 (1)(5)についてレポート課題を課す。
上記以外	40%	到達目標 (2)(3)(4)についてグループワークの提出課題を課す。

- ・遅刻 3回で4点を減点する。
- ・欠席 1回で8点を減する。
- ・3分の1以上の欠席は評価対象とならない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護管理	村島さい子他編	メディカ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

- ・授業時に資料配布

前提学力等

- ・3年次後期の専門科目の必修科目をすべて習得していること
- ・各論実習の単位をすべて修得していること

履修資格

講義名	看護キャリアデザイン論							担当教員	横井 和美
講義コード	1500142	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR327								

授業概要

医療の高度化・専門化が進む現代において看護の役割拡大や質の向上が求められる中、さまざまな角度から看護の役割を深く見つめ、自分を分析して自分の進むべき道を考える。看護学の学びをもとに、自己の人間形成とキャリア・職業観の育成、進路の選択・決定ができる能力を培う。

到達目標

- (1) 看護のキャリアデザインが求められる背景について理解できる。
- (2) 多面的な看護の役割から自己のキャリアデザインを描くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	
上記以外	50%	グループ発表からの課題レポート30% 課題発表 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護師のキャリア論	勝原裕美子	ライフサポート社	978-4-904084-01-4
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護教育と実践							担当教員	米田 照美 / 伊丹 君和 / 川端 愛野 / 関 恵子
講義コード	1500143	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号	441NUR329								

授業概要

臨床において看護職・保健職は、看護学生や後輩看護師など後進への育成に携わる機会が多い。また、将来、教育研究機関において、看護教育者として活躍することもある。実際の講義・演習・実習など看護教育の実践の場に参加する中で、体験を通して看護教育の基礎的能力を育む。また、後輩学生への指導を通して看護実践力および指導力を培うことを目指す。

到達目標

- 1) 看護基礎教育における授業方法・授業教材・授業評価の基礎的知識について、看護教育の実践の場で後輩学生への指導を通して、理解し指導力を培うことができる。
- 2) 看護教育の実践の場で後輩学生への指導を通して得た学びを共有することが出来る。
- 3) 看護教育者として望ましい身だしなみ・態度・言動で看護教育の実践の場に参加できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題		
上記以外	100%	1) 技術演習での参加、看護教育実践内容 80% 2) 指導した経験の振り返りと学びの共有 20%

- 1) 演習の参加状況、後輩への指導状況をみて、段階的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

3年次までの専門基礎科目、専門科目における必修科目をすべて修得していることが望ましい。

履修資格

講義名	看護研究の基礎/							担当教員	古株 ひろみ / 糸島 陽子 / 小林 孝子 / 牧野 耕次
講義コード	1500144	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	341NUR236								

授業概要

看護における新たな知識、知見を生み出し、実践・教育・健康政策の変化をもたらす「看護研究」への理解を深めるとともに、学士力の向上を目指す。看護（卒業）研究への導入を円滑に行うため、研究を実施するにあたって必要な手法を、研究の流れに沿って解説する。

到達目標

1. 看護研究の目的と意義が理解できる。
2. 国内外における文献検討の意義を理解し、文献検索を行うことができる。
3. 研究課題の組み立て、研究方法の手法（量的・質的）が理解できる。
4. 論文の書き方が理解できる。
5. 研究倫理を踏まえて、研究計画書を作成する方法が理解できる。
6. 論文のクリティークの意義と方法を理解し、行うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 別巻看護研究.東京.2017.	坂下令子	医学書院	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護トピックス							担当教員	甘佐 京子
講義コード	1500161	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR326								

授業概要

授業概要：社会現象や時事問題および国内外のニュースの中で、看護師・助産師・保健師などの看護職および医療・福祉に関連した様々な話題を取り上げ、その現象の意味や要因を考え、看護に対する視野を広めるとともに知見を深める。講義はグループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションを中心に展開する。自らが興味を持つ事象を、実習体験などを通して論じ、積極的に意見交換を行える場として活用する。

到達目標

- (1) 看護職および医療・福祉に関連した様々な話題を取り上げ、その現象の意味や要因を考え、看護に対する視野を広めるとともに知見を深めることができる。
- (2) グループワークにおいて、自分たちのテーマについて聴衆にわかりやすくプレゼンテーションができる。
- (3) それぞれのテーマにおいて、自己の意見を発言し積極的にディスカッションに参加できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	最終講義を受け、自分自身が今一番注目するテーマについて、レポートを提出する 「わが国(滋賀県)における医療・看護・福祉の現状と課題 副題 に焦点を当てて」
上記以外	40	グループワーク・プレゼンテーション20% グループの相互評価・プレゼンは参加者による評価

参加型の授業なので、3回以上無断欠席の場合評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は特になし。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

今までの全ての教科書が参考図書となる

前提学力等

医療・看護・福祉に関して幅広く興味関心をもっていること。できれば、臨地実習等を経験している4年時以降の履修が望ましい。

履修資格

講義名	看護理論（看護学部）							担当教員	米田 照美
講義コード	1500162	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR218								

授業概要

臨地実習などにおける自らの看護経験を振り返り、いずれかの看護理論を援用して、「人間」「健康」「環境」「看護」の観点で整理して理解を深める。また、自らの人間観や看護観とそれを形成してきた諸経験について省察し、これからの看護実践について「人が人として生きることを支える看護」の視点で展開する。

到達目標

- (1) 理論家の略歴や理論の背景を理解した上で、看護のメタパラダイムである「人間」「健康」「環境」「看護」および理論の概要が説明できる。
- (2) 特定の現象または概念に焦点をあてた中範囲理論の概要について理解し、事例展開できる。
- (3) 学習プロセスを通して、自身の人間観・看護観を基礎づけ、実践した看護について看護理論を援用した考察ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標 (3) について、レポート課題を課す。
上記以外	60%	到達目標 (1)(2) について、グループワークの発表・提出課題を課す。

遅刻 3回で4点を減点する。
3分の1以上の欠席は評価対象とならない。
レスポンスペーパーの内容により加点する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護実践に活かす中範囲理論	野川道子	メディカルフレンド社	978-4-8392-1612-2
2	看護理論－看護理論20の理解と実践への応用	筒井真優美編集	南江堂	978-4-524-24729
3	看護における理論構築の方法	Lorraine Olszewski Walker・Kay Coalson Avant ;	医学書院	

<参考書>

前提学力等

・基礎看護学実習 を修了していること

履修資格

講義名	基礎看護学実習							担当教員	伊丹 君和 / 川端 愛野 / 窪田 好恵 / 関 恵子 / 米田 照美
講義コード	1500163	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	141NUR219								

授業概要

患者とのコミュニケーションや看護の実際などの学びを通して、病院という環境におかれた患者の生活行動における援助の必要性および看護の役割と責務について考察、看護を学ぶ上での自己の学習課題を明確にする。

到達目標

- (1) 受持患者およびその家族の意思を尊重して接することができる。
- (2) 自己のコミュニケーションの分析や看護場面の見学などを通して、看護におけるコミュニケーションの意義について考察できる。
- (3) 病院という環境におかれた患者の生活行動を理解し、療養環境を整える援助を試みる中で、看護者としての援助の必要性を考える。
- (4) 実習病院の全体像および看護部の理念、病棟の構造と機能、看護の実際について把握し、ヘルスケアチームの中での看護者の役割と責務について考察できる。
- (5) 自己の健康管理も含め、学習者として、医療チームおよびグループの一員としての自覚と責任・協調性をもち、行動することができる。
- (6) 看護学生として望ましい身だしなみと態度で実習に参加できる。
- (7) 実習での学びをもとに、今後、看護を学んでいく上での自己の学習課題を明確にして記述できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	78%	目標に沿って評価する (1) 目標・評価用紙 10% (2) 実習記録1,3 24%
上記以外	22%	(5) カンファレンスでのディスカッション 10% (6) 身だしなみ・態度 12%

実習での言動や実施する基礎看護技術、実習記録の内容によって、実習目標毎に5段階評価(かなりできる、できる、普通、あまりできない、できない)し、点数化する(100点満点)。

授業外学習

前期授業で学んだことについて復習した上で、実習に臨むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、必要な知識・技術・情報を得る。

前提学力等

他者とのコミュニケーション力、看護技術力を磨いておくこと。

履修資格

講義名	基礎看護学実習							担当教員	米田 照美 / 伊丹 君和 / 川端 愛野 / 窪田 好恵 / 関 恵子
講義コード	1500164	単位数	2	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	241NUR220								

授業概要

病院で療養生活を送る受持患者を全人的に捉え、看護過程のプロセスに沿って看護実践を試みる中で、看護への理解を深める。看護実践にあたっては、患者の個別性に応じ、安全性、安楽性、自立・自律性を考慮した上で、科学的根拠に基づいて行う。

到達目標

- (1) 受持患者およびその家族の意思を尊重し、適切な人間関係を形成できる。
- (2) 受持患者の発達課題を理解し、その家族も含めて現在おかれている状況や思いについて考察できる。
- (3) 療養生活を送る受持患者を全人的に捉えた上で健康上の問題（看護診断）を抽出し、生活行動の援助を中心に計画・実施し評価できる。
- (4) 自己の健康管理も含め、学習者として、医療チームおよびグループの一員としての自覚と責任・協調性をもち、行動することができる。
- (5) 看護学生として望ましい身だしなみと態度で実習に参加できる。
- (6) 実習での学びをもとに、今後、看護を学んでいく上での自己の学習課題を明確にして記述できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	84%	・目標・評価用紙 6% ・実習記録72% (フェイス・シート、データベース、データの解釈、情報の統合・分析、看護計画、看護記録、サマリー)
上記以外	16%	・カンファレンスでのディスカッション 6%、 ・身だしなみ、態度 10%

実習での言動や実施する基礎看護技術、実習記録の内容によって、実習目標毎に5段階評価（かなりできる、できる、普通、あまりできない、できない）し、点数化する（100点満点）。

授業外学習

これまでに学んだ基礎知識・技術について全て復習した上で、実習に臨むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、必要な知識・技術・情報を得る。

前提学力等

他者とのコミュニケーション力、看護技術力、思考力を磨いておくこと。

履修資格

講義名	基礎看護技術							担当教員 伊丹 君和 / 川端 愛野 / 関 恵子 / 米田 照美
講義コード	1500165	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	141NUR214							

授業概要

人間は、生命を維持し、その人らしい人生を実現しようと日々生活行動を繰り返し行っている。しかし、ひとたび健康が脅かされたり自力で生活行動を維持できなくなったときに、生活行動を援助することは看護の専門性の第一義的な役割である。その過程において、対象との良好な人間関係を形成するために必要なコミュニケーション技術について学ぶ。また、生活行動および生活の場となる環境について看護の視点から考察し、病院という場で生活する患者の療養環境を整える看護技術を習得する。

到達目標

- (1) 対象との良好な人間関係を形成するために必要なコミュニケーション技術の基礎を理解し、プロセスレコードを作成することができる。
- (2) 人がその人らしく生きていく上で重要な生活行動をとりあげ、その意味やメカニズム、行動の成り立ち等についてグループワークによって追究し、作成した資料等をもとに他者に説明できる。
- (3) 看護技術を行う上で基礎となる知識を習得できる。
- (4) 看護者として望ましい身だしなみや態度・言動について考え、実践できる。
- (5) 病院という場で生活する患者の「療養環境を整える」ための基礎となる看護技術について自主的に練習を重ね、看護技術の習得ができる。
- (6) 実施する看護技術について、安全性、安楽性、自立・自律性および根拠を追究した上でその方法をワーク用紙にまとめることができる。
- (7) 対象となる人の生活行動および生活の場となる環境をとらえ、科学的思考をもとに看護の視点から考察できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	・プロセスレコード10% ・療養環境を整える援助技術について20%： 安全性、安楽性、自立・自律性10%、根拠と手順10%
上記以外	50	・健康な「生活行動」について10%： グループワークによる資料化と発表 ・技術チェック21%（前半6%、後半15%）および自己練習9%（通常練習5%、ボディメカニクス練習4%）

- * 本科目は8月の基礎看護学実習 の前提科目となる。
- * 本授業単位が不可の場合は実習に行くことができません。
- * 本演習に出席することが大前提となる

授業外学習

- 本授業では、実習室は大部屋の病室と考えて使用していく（清潔に身だしなみを整えた上で演習を行う）。
- * したがって、皆さんも清潔な身だしなみに整えた上で実習室を使用しましょう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン（湯 槇ます他訳）	日本看護協会出版会	
2	看護覚え書	フロレンス・ナイチンゲール（湯 槇ます他訳）	現代社	
3	実践看護技術学習支援テキスト 基礎看護学	川島みどり	日本看護協会出版会	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生活行動援助の技術	川島みどり	看護の科学社	
2	看護技術の現在	川島みどり	勁草書房	
3				

適宜、授業中に資料も配布する

前提学力等

履修資格

講義名	基礎看護技術							担当教員	伊丹 君和 / 川端 愛野 / 関 恵子 / 米田 照美
講義コード	1500166	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	141NUR215								

授業概要

人間の生活行動で基本となる「動く」「食べる」「排泄する」「身支度を整える」「入浴する」「眠る」ことの意義やメカニズム、基礎的知識を学んだ上で、生活行動に援助が必要となった人への看護技術の基本を習得していく。また、その学習過程の中で、看護技術を行う上で重要となる安全性、安楽性、自立・自律性および根拠を追究し、技術化への原理となる思考プロセスを学ぶ。

到達目標

- (1) 看護技術を行う上で基礎となる知識を習得できる。
- (2) 看護者として望ましい身だしなみや態度・言動について考え、実践できる。
- (3) 病院という場で生活する患者の「療養環境を整える」こと、および「動く」「食べる」「排泄する」「身支度を整える」「入浴する」「眠る」という生活行動を援助するための基礎となる看護技術について自主的に練習を重ね、技術習得ができる。
- (4) 実施する看護技術について、安全性、安楽性、自立・自律性を阻害する因子および対応策についてワーク用紙にまとめることができる。
- (5) 実施する看護技術について、より良い方法を試行錯誤・創造し、かつ科学的根拠を追究した上で、客観的かつ具体的にワーク用紙にまとめることができる。
- (6) 学習者としてグループの一員としての自覚と責任・強調性を持ち、行動することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	・各援助技術の課題ワーク40%： 安全性、安楽性、自立・自律性16%、根拠と手順24%
上記以外	60%	・小テスト10% ・技術チェック45%および自己練習5% *詳細は、演習時に配布説明する

- * 本科目は基礎看護技術・基礎看護学実習の前提科目となる。
- * 本授業単位が不可の場合は実習に行くことができません。
- * 本演習に出席することが大前提となる

授業外学習

- 本授業では、実習室は大部屋の病室と考えて使用していく（清潔に身だしなみを整えた上で演習を行う）。
- * したがって、皆さんも清潔な身だしなみに整えた上で実習室を使用しましょう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	実践看護技術学習支援テキスト 基礎看護学	川島みどり	日本看護協会出版会	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	考える基礎看護技術	坪井良子他	廣川書店	
2	看護実践の根拠を問う	小松浩子他	南江堂	
3				

適宜、授業中に資料も配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	基礎看護技術							担当教員	伊丹 君和 / 川端 愛野 / 関 恵子
講義コード	1500167	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	241NUR216								

授業概要

看護とは、健康問題に対する人間の反応を診断し、あらゆる健康のレベルにおいて、その人らしくより健康に生活できるよう支援することといえる。看護過程は、対象が健康な生活を送るにあたって障害となっているさまざまな健康問題を解決するために、個や集団に適用される手段・方法であり、看護アセスメントの基礎となる技術である。ゴードンの機能的健康パターンの枠組みに沿って具体的に事例展開を演習形式に進めながら、技術習得することを旨とする。

到達目標

- (1) 看護過程を看護の方法論として捉えることができ、看護過程を構成する要素や代表的な看護診断について説明できる。
- (2) 科学的思考について理解し、練習事例のデータを解釈できる。
- (3) ゴードンの機能的健康パターンの枠組みに沿って、事例を用いて看護過程を展開することができる。
- (4) グループで立案した計画について、根拠や創意工夫した点も含めてロールプレイングを用いて発表できる。
- (5) 看護過程における記録、評価、サマリーについて理解し、事例をもとに説明できる。
- (6) 学習者としてグループの一員としての自覚と責任・強調性を持ち、行動することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80%	<ul style="list-style-type: none"> ・練習事例アセスメント10% ・事例展開60% ・サマリー10%
上記以外	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト10% (看護診断の代表例) ・グループワークによる資料化と発表 10% ・演習時の不適切な言動や他者への迷惑行為 - 2点 / 回、無断遅刻・早退 - 4点 / 回、無断欠席 - 8点 / 回

- * 本科目は9月の基礎看護学実習 の前提科目となる。
- * 本授業単位が不可の場合は実習に行くことができません。
- * 本演習に出席することが大前提となる。

授業外学習

* いかなる欠席の場合も、その授業で出された課題ワークなどは提出する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護診断ハンドブック	カルペニート(新道幸恵ほか訳)	医学書院	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NANDA- 看護診断 定義と分類	T.ヘザー・ハードマン(日本看護診断学会監訳)	医学書院	
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	
3				

適宜、授業中に資料を配布する。

前提学力等

1年次の専門基礎科目・専門科目における必修科目の単位を全て修得していることが望ましい。

履修資格

講義名	基礎看護技術							担当教員	米田 照美 / 伊丹 君和 / 川端 愛野 / 関 恵子
講義コード	1500168	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	241NUR217								

授業概要

看護を実践するための基礎となる看護技術を習得する。特に、診療に関連する援助の基礎的な技術を習得するとともに、科学的根拠に基づいた安全性を重視した看護実践能力を養う。また、看護の対象となる人を総合的に捉えるためのフィジカルアセスメントの基礎を学び、看護を行う上で必要な観察力を養う。さらに、健康障害をもつ対象を理解し、状態に応じた看護技術を適用する方法の基礎的な知識について学ぶ。

到達目標

- (1) 人を総合的に捉え、看護に反映するための基礎的なフィジカルアセスメントを実践し、記述できる。
- (2) 観察技術の基本となるバイタルサイン測定技術について自主的に練習を重ねて習得する。
- (3) 看護を行う上での基礎的な観察とコミュニケーションをもとに患者の情報を収集し、観察したことを正常か異常か判断することができる。
- (4) グループワークを通して診療の補助の基礎的な看護技術について、安全性、安楽性、自立・自律性および根拠を追求しながら実践できる。
- (5) 看護者として望ましい身だしなみと態度・言動について考え、実践できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	定期試験30%
レポート課題	10%	課題レポート10%
上記以外	60%	(1) 演習時のグループでの取り組み10%、(2) 小テスト10%(3)実技試験40%、(5)演習時の不適切な身だしなみや他者への迷惑行為 - 2点/回、無断遅刻・早退 - 4点回、無断欠席 - 8点

*本演習に出席することが大前提となる(原則として欠席・遅刻は認めない)やむを得ない事情(急引き、病欠、事故や災害など)の場合は、事前に連絡を入れる(各担当教員まで)。
*本科目は8月の基礎看護学実習の前提科目となる。

授業外学習

*グループワークについて：授業を効果的に行うために、グループワークを活用していく。看護する上で他者(メンバー)と協力することは重要である。8月の実習に向けて、学生間で互恵的な協力関係を築き、個々が責任を持ち、活発な相互交流を行うことになって学び合える小集団技能を磨ける。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護のためのフィジカルアセスメントアドバイス	守田美奈子(監修)	インターメディカ	
2				
3				

テキストは毎回持参すること。第1・2回バイタルサインの測定の演習、実技試験、バイタルサイン、フィジカルアセスメントの演習には、聴

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨床看護の基礎となる新看護学テキスト	日野原重明	日本看護協会出版会	
2				
3				

前提学力等

- 1) 1年次の専門基礎科目、専門科目における必修科目の単位をすべて修得していることが望ましい。
- 2) 履修資格として基礎看護技術、基礎看護実習を修得していること。

履修資格

講義名	基礎助産学 /							担当教員	板谷 裕美
講義コード	1500171	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

助産学の基本概念、助産実践と助産診断の概要について学修する。
 助産師の教育・歴史の変遷について理解し、助産師の役割や社会的責務について考察する。
 倫理的行動形成のために必要な基礎的知識（生命倫理を含む）を理解し、自らの助産実践に必要な倫理観が形成できる。
 助産活動（諸外国の活動を含む）の発達を概観し、国際社会における母子保健の動向を視野に入れながら、我が国の助産および助産学の現状や将来展望について探求する。
 周産期に関わる母子、家族関係について理解し、支援方法について考察する。

到達目標

- (1) 助産学の基本概念、関連法規の関連性を学び、助産師の専門職に求められる役割について理解できる。(20%)
- (2) 倫理的行動形成のために必要な基礎的知識を理解し、自らの助産実践に必要な倫理観が形成できる。(30%)
- (3) 助産師の歴史・教育について説明できる。(20%)
- (4) 助産活動（諸外国の活動を含む）の発達を概観し、国際社会の動向を視野に入れながら、我が国の助産および助産学の現状や将来展望について考察できる。(20%)
- (5) 周産期に関わる母子、家族関係について理解し、支援方法について意見を述べる事ができる。(10%)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	(1) 助産学の基本概念、助産実践と助産診断について学び、助産専門職に求められる役割について理解できる。(20%) (2) 倫理的行動形成のために必要な基礎的知識を理解し、自らの助産実践に必要な倫理観が形成できる。(10%)
レポート課題	30%	(2) 倫理的行動形成のために必要な基礎的知識を理解し、自らの助産実践に必要な倫理観が形成できる。(10%) (4) 助産活動（諸外国の活動を含む）の発達を概観し、国際社会の動向を視野に入れながら、我が国の助産および助産学の現状や将来展望について考察できる。(20%)
上記以外	20%	(2) 倫理的行動形成のために必要な基礎的知識を理解し、自らの助産実践に必要な倫理観が形成できる。(観察法10%) (5) 周産期に関わる母子、家族関係について理解し、支援方法について意見を述べる事ができる。(10%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

助産に関連する国内外のニュースに興味関心を高めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	助産学概論	我部山キヨ子	医学書院	978420019972
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜プリント配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	基礎助産学 /							担当教員	板谷 裕美 / 濱野 裕華 / 古川 洋子 / 堀内 遥子 / 未定 * / 渡邊 友美子
講義コード	1500172	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講		
ナンバリング番号									

授業概要

助産の対象者に対する健康教育に活用できる理論を学び、個人あるいは集団に対する健康教育についてプログラムの立案から評価までの一連の過程を理解する。
さらに、女性を生物学的側面のみならず、心理・社会・文化的側面を重視するウイメンズヘルスの視点から捉え、地域における女性のライフサイクル全般の健康を支援するための考え方と実践方法を修得する。

到達目標

- (1) リプロダクティブヘルス/ライツの概念が説明でき、それらを踏まえた上で国内外における女性の健康の特性について説明できる(10%)
- (2) 助産の対象者の健康教育と活用される理論が説明できる(10%)
- (3) 健康教育のプロセスおよびその過程で活用される教育技法、評価法を説明できる(10%)
- (4) 個人あるいは集団を対象とした健康教育の特徴が説明できる(5%)
- (5) 個を対象とした健康教育の指導計画立案と学習教材の作成ができる(40%)
- (6) 健康教育者としての助産師に必要な能力について理解できる(5%)
- (7) 女性のライフサイクルにおける健康課題に関する相談・教育・援助技術が説明できる(思春期・成熟期・更年期・老年期)(20%)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題への取り組み状況と成果物(健康教育の指導媒体)40%:目標5 課題発表とディスカッションの観察法による30%:目標2・3・4・6 レスポンスペーパー30%:目標1・7

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

1. 本授業の最初に、この科目で何を学びたいか?どのように学びたいか?を確認します。
2. 各自の課題について計画的に内容を立案すると同時に、メンバーの課題についても積極的に意見を述べながら、最終的にグループ内で活用でき

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	助産学講座4 母子の心理・社会学	我部山キヨ子	医学書院	9784260021869
2	助産学講座5 助産診断技術学	堀内成子	医学書院	9784260015837
3				

助産学雑誌、ペリネイタルケア等の雑誌を閲覧し、学修に役立てること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新人看護師、助産師学生、看護師学生のためのマタニティサイクルの実践保健指導 妊娠期	鈴木由美	丸善プラネット	
2	新人看護師、助産師学生、看護師学生のためのマタニティサイクルの実践保健指導 産褥期	鈴木由美	丸善プラネット	
3				

授業中に適宜プリントを配布する

前提学力等

3年次までの必修科目、助産師資格取得科目をすべて履修していること

履修資格

講義名	クリティカルケア実践演習							担当教員	荒川 千登世 / 生田 宴里
講義コード	1500181	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	441NUR322								

授業概要

臨床における急変時などに的確な臨床看護判断をおこなうための知識や技術について学ぶ。
集中的・緊急的ケアの必要な患者および家族（重要他者）の特性や、クリティカルケアの場の特殊性を理解し、代表的なクリティカルケアを受ける患者および家族への看護について学ぶ。
ゼミ形式でおこなう。

到達目標

- 1) クリティカルケアにおける臨床推論の基本的技法を理解する。
- 2) 集中的・緊急的ケアの必要な患者および家族（重要他者）の特性を理解する。
- 3) クリティカルケアの場の特殊性を理解する。
- 4) クリティカルな状況にある対象者の「生活」を支えるということについて考察する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	最終レポート20%
上記以外	80%	参加状況（ワーク、プレゼン、ディスカッション、見学実習）80%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「成人クリティカルケア実習」を履修していること（編入生は相当する科目を認定されていること）

履修資格

講義名	健康科学 /							担当教員	安原 治
講義コード	1500190	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

正常の人体の構造と機能はいろいろな侵襲によって傷害され、疾病がおこる。病理学では、病気を起こす原因と、それぞれの原因によって病変が成立する機序を学ぶ。これによって、各種疾病の基本的な疾患概念を理解することができる。その知識と正しい理解は医療の各分野における基礎として必須である。本講義では、解剖生理学の知識を基盤として、臨床医学・看護学への架け橋となるよう授業する。総論として、細胞損傷、炎症、免疫、循環障害、代謝障害、腫瘍、先天性異常の7つのカテゴリーについて解説する。各論では、各臓器系の代表的な疾患を取りあげ、疾患の発生機序と病態について理解を深める。

到達目標

- (1) 細胞傷害・変性・細胞死の原因を説明できる。
- (2) 生体への侵襲に対する防御機構について説明できる(炎症・免疫)。
- (3) 循環障害、代謝障害、先天異常、免疫異常、腫瘍など、主要な病態について説明できる。
- (4) 各臓器系について、代表的な病気を挙げ、その成立過程と病態を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	選択問題・穴埋め問題 25問(2点×25=50)
レポート課題	50	レポート 5回 (10点×5=50)
上記以外		

授業外学習

症例課題5題を課し、レポートの提出を求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 病理学	大橋健一、他	医学書院	9784260019866
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 病態生理学	田中越郎	医学書院	9784260009065
2				
3				

前提学力等

解剖生理学I, IIについて理解していることを前提とする。

履修資格

講義名	病理学							担当教員	安原 治 / 越山 雅文
講義コード	1500195	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR204								

授業概要

正常の人体の構造と機能はいろいろな侵襲によって傷害され、疾病がおこる。病理学では、病気を起こす原因と、それぞれの原因によって病変が成立する機序を学ぶ。これによって、各種疾病の基本的な疾患概念を理解することができる。その知識と正しい理解は医療の各分野における基礎として必須である。本講義では、解剖生理学の知識を基盤として、臨床医学・看護学への架け橋となるよう授業する。総論として、細胞損傷、炎症、免疫、循環障害、代謝障害、腫瘍、先天性異常の7つのカテゴリーについて解説する。各論では、各臓器系の代表的な疾患を取りあげ、疾患の発生機序と病態について理解を深める。

到達目標

- (1) 細胞傷害・変性・細胞死の原因を説明できる。
- (2) 生体への侵襲に対する防御機構について説明できる(炎症・免疫)。
- (3) 循環障害、代謝障害、先天異常、免疫異常、腫瘍など、主要な病態について説明できる。
- (4) 各臓器系について、代表的な病気を挙げ、その成立過程と病態を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	選択問題・穴埋め問題 25問(2点 X 25 = 50)
レポート課題	50	レポート 5回 (10点 X 5 = 50)
上記以外		

授業外学習

症例課題5題を課し、レポートの提出を求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 病理学	大橋健一、他	医学書院	9784260019866
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 病態生理学	田中越郎	医学書院	9784260009065
2				
3				

前提学力等

解剖生理学I, IIについて理解していることを前提とする。

履修資格

講義名	健康科学 /							担当教員	北川 善紀
講義コード	1500200	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

本講義では、医療従事者に必要不可欠な微生物学や免疫学の概要を学習します。全15回の講義のうち、9回目までの講義では、(1) 微生物（細菌や真菌、原虫、ウイルス）の特徴や構造、(2) 「感染」と呼ばれる現象のメカニズム、(3) 代表的な感染源と感染経路、(4) 宿主の感染防御機構（免疫機構）、(5) 滅菌と消毒、(6) ワクチンと予防接種など、感染症の治療や予防のために必要な基礎知識を学びます。その後の講義では、临床上重要な病原微生物について、その性状や病原性、感染経路、治療と予防の要点を学びます。

授業は、教科書に書かれている基本的な事項に加え、最近のニュースなどで話題になった感染症関連のトピックを取り上げながら進めていきます。

到達目標

- (1) 4種類の微生物について、それぞれの基本的な性状を理解する。
- (2) 代表的な感染源と感染経路を覚え、その予防手段を理解する。
- (3) 微生物感染に対する感染防御機構（免疫）の仕組みを理解する。
- (4) 医学的な清潔の概念を理解し、清潔と不潔を区別できるようになる。
- (5) 主な病原微生物の性状や病原性、感染経路、治療法、予防法を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	授業概要や授業計画、到達目標に挙げた項目の全範囲を対象とした試験を行い、評価する。
レポート課題	0	
上記以外	0	

授業外学習

微生物学に限らず全教科において予習と復習は必須であると考えますが、特に微生物学は覚えるべき用語が多いことなどから、予習と復習を強くお勧めします。詳しくは、最初の講義の時に説明します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 微生物学 疾病のなりたちと回復の促進(4)	南嶋洋一、吉田真一、永淵正法	医学書院	4260018272
2				
3				

授業では毎回、資料としてプリントを配布しますが、教科書を使う場合もありますので講義時には用意してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	戸田新細菌学	吉田真一、柳雄介、吉開泰信	南山堂	4525161140
2				
3				

前提学力等

特にありません。

履修資格

講義名	微生物学							担当教員	北川 善紀
講義コード	1500205	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR205								

授業概要

本講義では、医療従事者に必要不可欠な微生物学や免疫学の概要を学習します。全15回の講義のうち、9回目までの講義では、(1) 微生物(細菌や真菌、原虫、ウイルス)の特徴や構造、(2) 「感染」と呼ばれる現象のメカニズム、(3) 代表的な感染源と感染経路、(4) 宿主の感染防御機構(免疫機構)、(5) 滅菌と消毒、(6) ワクチンと予防接種など、感染症の治療や予防のために必要な基礎知識を学びます。その後の講義では、臨床上重要な病原微生物について、その性状や病原性、感染経路、治療と予防の要点を学びます。

授業は、教科書に書かれている基本的な事項に加え、最近のニュースなどで話題になった感染症関連のトピックを取り上げながら進めていきます。

到達目標

- (1) 4種類の微生物について、それぞれの基本的な性状を理解する。
- (2) 代表的な感染源と感染経路を覚え、その予防手段を理解する。
- (3) 微生物感染に対する感染防御機構(免疫)の仕組みを理解する。
- (4) 医学的な清潔の概念を理解し、清潔と不潔を区別できるようになる。
- (5) 主な病原微生物の性状や病原性、感染経路、治療法、予防法を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	授業概要や授業計画、到達目標に挙げた項目の全範囲を対象とした試験を行い、評価する。
レポート課題	0	
上記以外	0	

授業外学習

微生物学に限らず全教科において予習と復習は必須であると考えますが、特に微生物学は覚えるべき用語が多いことなどから、予習と復習を強くお勧めします。詳しくは、最初の講義の時に説明します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 微生物学 疾病のなりたちと回復の促進(4)	南嶋洋一、吉田真一、永淵正法	医学書院	4260018272
2				
3				

授業では毎回、資料としてプリントを配布しますが、教科書を使う場合もありますので講義時には用意してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	戸田新細菌学	吉田真一、柳雄介、吉開泰信	南山堂	4525161140
2				
3				

前提学力等

特にありません。

履修資格

講義名	健康教育論							担当教員	小島 亜未
講義コード	1500212	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR321								

授業概要

健康教育の基本的知識を理解し、健康教育の目的、方法を学ぶ。行動変容の関係理論を理解するだけでなく、看護の対象のセルフケア能力を高める必要性を理解し、セルフケア能力を獲得する健康教育方法について事例を用いながら学習する。また、グループを単位とする活動の特徴についても理解し、ヘルスプロモーション推進に向けた健康教育のあり方についても考える。

到達目標

(1)健康教育についての理念と概念を説明できる。(2)看護職が行う健康教育の目的、方法を説明できる。(3)健康教育における基礎的な理論を説明できる。(4)看護職が実施する健康教育のありかたについて述べるができる。(5)対象の持つ健康課題に応じた健康教育が企画、実施、評価できる(6)グループ活動の意義を理解し、協働して課題に取り組むことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(1)から(4)について、論述式および穴埋め式等により試験および小テストを行う。(60%)
レポート課題		
上記以外	40%	到達目標(5)について、計画書や発表内容で評価する。(30%)到達目標(6)について、課題への取り組み状況をみて評価する。(10%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生学（看護）							担当教員	草野 文嗣 / 小林 孝子
講義コード	1500213	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	234NUT243, 241NUR212								

授業概要

公衆衛生とは、全ての人間及びその集団を対象とする活動であり、それ故全ての人間が、より良い状態で生活し、生涯を終えることを追及していることを理解する。また、全ての人の健康状態がどのように時代と共に変化し、守られてきているかを、全ての生活基盤において観察し、それを基に、疾病予防・健康増進のためにどのような活動や努力が必要か、生活環境や食物等との関係も含め理解する。

また、これから先の人口高齢化、多病、多死、人口減少社会に対し、現代に生きる人間が如何に対処すべきかを考える。

到達目標

公衆衛生活動が、全ての人間の健全な生活にどのように関わっているかを理解する。
 全ての生活環境、食生活等が、人間の一生に関して如何に大きく関わっているかを理解する。
 現在のわれわれの生活内容、健康状態が、将来の世代に如何なる影響を与えるかを理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「わかりやすい公衆衛生学」	清水 忠彦 , 佐藤拓代 (編集)	ヌーヴェルヒロカワ	978-4-86174-066-4
2	「ああ、野麦峠」	山本茂実	角川文庫	978-4041433010
3				

「わかりやすい公衆衛生学」は初回授業時に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

国民衛生の動向（厚生労働統計協会）

前提学力等

人体解剖・生理を習得し、微生物、病理を理解していること。

履修資格

講義名	公衆衛生看護学							担当教員	馬場 文 / 川口 恭子
講義コード	1500214	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR330								

授業概要

講義期間の前半は公衆衛生看護の対象と保健活動について、さまざまな方向から理解することを目標とする。公衆衛生看護の対象は、小児、母子、成人、高齢者などあらゆるライフステージの人々である。さらに、さまざまな健康課題を持つ人々も対象となる。これらの対象に行う保健活動について、各ライフステージおよび健康課題ごとに、現在までの保健統計の動向・保健活動の目的・行政における保健施策体系・法的根拠についてテキストと配布資料をもとに講義を行う。次いで講義期間の後半は、行政を中心に展開されている保健活動の方法について体系的に理解することを目標とする。公衆衛生看護技術の総体である保健指導の定義と具体的な方法について、テキストと配布資料をもとに講義を行う。

到達目標

- (1) ライフサイクル別の保健活動について、保健統計の動向、法的根拠、各保健活動の目的、保健施策体系および施策の内容を述べることができる。
- (2) 健康課題別の保健活動について、保健統計の動向、法的根拠、各保健活動の目的、保健施策体系および施策の内容を述べることができる。
- (3) 対象の特性（ライフサイクル・健康課題・個人・家族・集団・組織など）に応じた、保健指導の目的・方法・評価について述べるができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標(1) : 25% 到達目標(2) : 20% 到達目標(3) : 20%
レポート課題	35	到達目標(1) : 15% 到達目標(2) : 20% いずれも、第2回～第11回の授業の予習として課す宿題を評価対象とする。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

第2回～第11回の授業については、法律・制度・保健統計の動向等に関する内容を、予習課題として事前に指示する。各自で教科書や参考図書を用いて調べ、予習課題を当該授業までに提出すること。授業はその課題を終えていることを前提とする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術第3版	中村裕美子 他	医学書院	978-4-260-02193-7
2	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動第3版	中谷芳美 他	医学書院	978-4-260-01820-3
3				

2年次の公衆衛生看護学概論で購入している「国民衛生の動向」（厚生労働統計協会）を、教科書と合わせて持参すること。（特に初回～第11回）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公衆衛生マニュアル	柳川洋, 中村好一 編集	南山堂	978-4-525-18733-0
2	母子保健マニュアル	高野陽 他	南山堂	978-4-525-18447-6
3				

各授業においても、参考資料等のプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護学							担当教員	小林 孝子 / 西内 恭子 / 馬場 文
講義コード	1500215	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

本講義はオムニバス方式で展開し、社会・環境と公衆衛生看護活動、学校における学校保健活動、歯科保健活動、職域における産業保健活動についての基本的考え方を学ぶ。

社会・環境と公衆衛生看護活動：社会環境要因に関連した健康課題や健康格差などの今日的課題について学び、まちづくりやヘルスプロモーションの視点から課題の解決方法と看護職の役割を考察する。

学校保健活動：学校における看護職の役割について理解し、今日の問題である生活習慣病の若年化や引きこもり・不登校・いじめ等の学校保健の課題とその解決のための看護職の基本的役割についても学ぶ。

歯科保健活動：歯科保健における課題と活動を学び、看護職の役割を考察する。

産業保健活動：産業保健活動の目的は働く人々が労働と健康の調和を図り、心身ともに健康で充実した職業生活が出来るよう支援することである。産業保健活動の

到達目標

【社会・環境】【学校保健】【歯科保健】

- (1) 公衆衛生看護において社会や環境への働きかけが重要であることを説明することができる。
- (2) 社会や環境に関連した健康課題について説明することができる。
- (3) 学校保健における看護職者の役割について述べるすることができる。
- (4) 学校保健の課題とその解決方法を考え、述べるすることができる。
- (5) 歯科保健の基本的知識を説明することができる。

【産業保健】

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	【社会・環境】【学校保健】【歯科保健】 (1) 定期試験(10%) (2) 定期試験(10%)
レポート課題	50	【産業保健】 中間レポート 20% 労働者の健康課題について、その背景を調べ、産業看護の視点でさらに深めたい知識をリサーチする。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

【産業保健】集中講義なので予習復習は難しいと思いますが、授業の中のキーワードについて知識を深めてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	国民衛生の動向			
2				
3				

前提学力等

【産業保健】3年次の実習に出る前が望ましい。

履修資格

講義名	公衆衛生看護学概論							担当教員	小林 孝子
講義コード	1500216	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR235-C								

授業概要

地域で生活する人びと（小児・母子・成人・高齢者等）の健康障がいの予防、健康の保持・増進、健康障がいを持つ人びとを対象とする公衆衛生看護学の概念、意義、基本的理念について学ぶ。またそれらを実践する際の活動の視点、活動の領域、展開方法などの基本的知識について理解する。さらに日本や諸外国の公衆衛生看護活動の成立基盤や歴史、活動に用いられる主要な公衆衛生学の理論、医療・保健・福祉行政や法制度などを踏まえた上で、公衆衛生看護学のあり方や現状と課題、今後の展望について学ぶ。

到達目標

- (1) 公衆衛生看護の理念と概念を説明できる。それらの知識を元に、自らの健康観や地域をみる視点について述べることができる。
- (2) 保健師活動の場と提供するサービスを説明できる。
- (3) 公衆衛生看護学に関する法律や社会制度およびそれらの関係性について説明できる。
- (4) 公衆衛生看護の歴史に関して、事象や意義について説明できる。
- (5) 健康に関する概念と変遷およびプライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションについて説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	(1) 定期試験 (10%) (2) 定期試験 (10%) (3) 定期試験 (10%)
レポート課題	13	(1) レポート (4%) 地域を知ろう (2) レポート (4%) 事例に提供できる保健サービス (5) レポート (5%) ヘルスプロモーションの実践活動
上記以外	27	(1) レスポンスペーパー (2%) グループ討議・発表 (2%) (2) レスポンスペーパー (2%) グループ討議・発表 (2%) (3) 小テスト (15%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論」	奥山則子他	医学書院	
2	「国民衛生の動向」		厚生労働統計協会	
3				

教科書は初回授業から持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は講義中、適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	国際看護学							担当教員	近藤 麻理 / 森 恵
講義コード	1500217	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR331								

授業概要

国際的視野から看護を展開するには、どのような知識が必要であるかを理解したうえで、諸外国の人々の健康と保健・医療の現状について知り、人々の健康に影響を及ぼす人口学的、社会経済学的、文化的な要因について考えていきます。また、国際看護の基本概念ならびに世界の健康問題をふまえ、異文化の価値観を尊重した看護実践について、事例を通して発展的に考えられるようにします。

到達目標

- (1) 世界の健康課題について人口動態等から説明することができる。(世界人口動態の復習)
- (2) 国際機関の役割について理解することができる。(国際機関の名称と役割の予習と復習)
- (3) 国際看護の基本となる概念や実践活動を理解することができる。(PHC、MDGs、人間の安全保障の復習)
- (4) 国際的看護活動の実際を知り、看護の役割を考えることができる。(対象者理解を深めるための映像や書籍による復習)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	70	到達目標(1)(2)(3)については、小レポート(30%) 到達目標(4)については、課題レポート(40%)
上記以外	30	授業時のグループによるディスカッションへの参加度と態度(30%)を総合的に評価する。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知って考えて実践する国際看護	近藤麻理	医学書院	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	災害看護学							担当教員	増尾 佳苗 / 藤本 理恵
講義コード	1500221	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR332								

授業概要

現在起こりうる災害、大規模事故や感染症などによる健康危機の発生と対応の必要性を理解する。その上で、危機予防、初動対応、被害者の健康管理、医療提供、精神保健対策など主要な対策、管理における看護職の役割、基本的な知識と技術を学ぶ。

到達目標

国内の災害について理解し、その対応と対策について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	
上記以外	50	授業参加度・態度：50%（内訳：授業内課題(意見・感想)20%、グループワーク参加度・共有30%）

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

集中講義となるため、授業内容に関連することについて調べ、自分の考えを説明できるようにしておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座統合分野 看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学	日本赤十字社 事業局看護部	医学書院	978-4-260-00908-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	災害時のこころのケア		日本赤十字社	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	在宅看護学演習							担当教員	森本 安紀 / 河野 益美
講義コード	1500222	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	341NUR316								

授業概要

在宅療養の場面や状況、終末期等のさまざまな事例を通して、療養者およびその家族の生活の継続・拡大・QOLの向上といった目標を達成するために必要な支援を学ぶ。また、多職種・他機関等、多種多様なチームでの支援とそれの中の看護職の役割を理解する。これらを統合して、課題達成のために必要な看護過程の展開について演習を通して学びを深める。さらに、グループワークを通しマネジメント能力、チームケア能力を養う。

到達目標

- (1) 在宅療養者と家族を生活者として理解し、そのセルフケアの能力の強化・維持と、QOLの向上を目指した看護を考えることができる。
- (2) 在宅療養者と家族らの生活のとらえ方、コミュニケーション・指導技術・看護技術の創意工夫等の能力を高めることができる。
- (3) グループワークに積極的に参加し、計画的・自主的に学習を進めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題	20	レポート10% 課題10%
上記以外	30	グループワーク演習30%

- 1) 3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
- 2) 期日に間に合わなかった、提出物は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	《系統看護学講座 統合分野》 在宅看護論		医学書院	978-4-260-02762-5
2				
3				

2回生で使用した教科書を継続して使用する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で随時提示する。

前提学力等

在宅看護学概論・在宅看護援助論の履修が望ましい。

履修資格

講義名	在宅看護学概論							担当教員	河野 益美 / 森本 安紀
講義コード	1500223	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR231-C								

授業概要

在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的背景を踏まえ、在宅看護の概念、わが国の在宅ケア・在宅看護に関連する制度やシステムについて教授する。さらに、健康障害を持ちながら在宅で生活する人々と、その家族の生活の質の向上を目指した看護を実践するために必要な基本的な考え方と基礎知識を教授する。

到達目標

1. 在宅看護の対象・目的・機能を理解し、説明することができる。
2. 生活の場である在宅での看護について理解し、説明することができる。
3. 訪問看護を含む在宅ケアシステムについて理解し、説明することができる。
4. 在宅療養を支える制度と社会資源を理解し、説明することができる。
5. 社会資源の活用における看護職の役割について理解し、説明することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	筆記試験
レポート課題	20	課題レポート・講義中の提出物
上記以外		

- (1) 到達目標に対する達成度は本試験結果および課題レポートの内容で評価する。
(2) 課題レポートは指示された期日を過ぎた場合は未提出として取り扱う。

授業外学習

事前学習については講義初日のオリエンテーションで示す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	《系統看護学講座 統合分野》 在宅看護論		医学書院	978-4-260-02762-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	在宅看護援助論/							担当教員	河野 益美 / 森本 安紀
講義コード	1500224	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

在宅における看護職の役割・機能を理解して、継続看護の重要性を理解する。在宅で療養をする対象者及びその家族への生活支援に関する看護活動の知識・技術について学ぶとともに、療養する人々を取り巻く家族の課題を理解する。療養者及びその家族が生活を継続・拡大できることを目標にした、自立生活の確立などQOLの向上のために必要な在宅看護の看護展開を学び、在宅看護の実践能力を養う。

到達目標

- (1)在宅看護における継続看護の必要性について説明できる。
- (2)社会資源を活用したケアマネジメントについて理解出来る
- (3)在宅看護における家族看護の必要性について説明できる。
- (4)在宅看護における看護過程の展開方法が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	定期試験
レポート課題	40	レポート・グループワークなどの課題
上記以外		

- 1) 3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
- 2) 期日に間に合わなかった提出物は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	《系統看護学講座 統合分野》 在宅看護論		医学書院	978-4-260-02762-5
2				
3				

2 回生前期で使用した教科書を継続して使用する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で随時提示する

前提学力等

在宅看護学概論の履修が望ましい。

履修資格

講義名	在宅看護学実習							担当教員 森本 安紀 / 川口 恭子 / 河野 益美 / 小島 亜未 / 馬場 文
講義コード	1500225	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号	341NUR317							

授業概要

訪問看護ステーションの活動の実際を通し、在宅療養者とその家族の健康上の問題を理解し、生活の場に応じた看護の役割と方法について学ぶ。また、訪問看護ステーションの活動の実際を通し、チーム医療及び他機関・多職種と協働する看護の役割を理解する。

到達目標

- 1) 在宅療養者および家族の生活上の健康課題を理解できる。
- 2) 療養者をとりにくく生活環境を把握し、在宅看護の役割と方法を理解できる。
- 3) 在宅生活に応じた療養者と家族の看護過程の展開ができる。
- 4) 継続看護における訪問看護ステーションの役割を理解できる。
- 5) 社会資源の活用方法と多職種との連携・調整を理解できる。
- 6) 実習生として適切な態度と責任のある言動で実習に臨むことができる。
- 7) 地域の特性を踏まえ今後の在宅看護のあり方について述べるができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	10	レポート課題
上記以外	90	実習への取り組み、日々の記録物

授業外学習

- 1) 訪問看護ステーションに関する法律・制度について学習する。
- 2) 訪問看護ステーションの機能・役割・活動について学習する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	在宅看護学							担当教員	河野 益美 / 森本 安紀
講義コード	1500226	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR232								

授業概要

在宅における看護職の役割・機能を理解して、継続看護の重要性を理解する。在宅で療養をする対象者及びその家族への生活支援に関する看護活動の知識・技術について学ぶとともに、療養する人々を取り巻く家族の課題を理解する。療養者及びその家族が生活を継続・拡大できることを目標にした、自立生活の確立などQOLの向上のために必要な在宅看護の看護展開を学び、在宅看護の実践能力を養う。

到達目標

- (1) 在宅看護における継続看護の必要性について説明できる。
- (2) 社会資源を活用したケアマネジメントについて理解出来る。
- (3) 在宅看護における家族看護の必要性について説明できる。
- (4) 在宅看護における看護過程の展開方法が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	定期試験
レポート課題	40	レポート・課題・グループワークの成果など
上記以外		

- 1) 3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
- 2) 期日に間に合わなかった提出物は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	《系統看護学講座 統合分野》 在宅看護論		医学書院	978-4-260-02762-5
2				
3				

2 回生前期で使用した教科書を継続して使用する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で随時提示する

前提学力等

在宅看護学概論の履修が望ましい。

履修資格

講義名	疾病論							担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 金子 隆昭 / 高橋 完
講義コード	1500311	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR207								

授業概要

人体のしくみは神経系、内分泌系、循環・免疫系の縦系と各臓器別の横系によって織りなされている。この人体の正常構造と機能を理解した上で、循環器疾患、消化管疾患、肝臓・胆嚢・膵臓疾患、内分泌・代謝性疾患、腎・尿路疾患、脳神経疾患の病態生理、症状、検査と治療法の基礎知識を学び、看護に必要な病気の理解を深める。

到達目標

- (1) 臓器別に主要疾患の成り立ち(原因)と症状・徴候が説明できる。
(2) 臓器別に主要疾患の診断法および治療法が説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題	50	
上記以外		

各担当教員の配点の合計を総合点数とする

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学〔2〕～〔8〕、〔10〕、〔11〕		医学書院	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

1 回生時の授業科目「体のしくみと機能 および 」を履修・理解していること。

履修資格

講義名	小児看護学概論							担当教員	古株 ひろみ / 川端 智子 / 玉川 あゆみ
講義コード	1500321	単位数	1	開講期	前期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR225-C								

授業概要

子どもの権利と、代表的な発達理論を踏まえ、子ども（胎児期から新生児期を含む）の成長発達の概念と成長発達過程について理解し、健全な成長発達を促進する援助技術力を育成する。小児看護の役割や意義について教授する。

到達目標

成長発達の特徴・共通性・影響因子が理解できる
 発達に関する諸理論について理解できる
 小児各期の身体・運動・心理・社会的発達とその評価方法が理解できる
 年齢に応じた遊びや生活援助について説明できる
 子どもの権利が理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	ルーブリック参照
レポート課題	30	ルーブリック参照
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしないこととする

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学	濱中喜代	メジカルフレンド社	
2				
3				

テキストは初回授業から持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	小児臨床看護学/							担当教員	古株 ひろみ / 川端 智子 / 玉川 あゆみ
講義コード	1500322	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

小児期の主な健康障害を理解し、生活上の問題、看護援助の方法、小児期の主な疾患とその病態生理、健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響について理解し、健康障害に応じた看護過程を実践する上で必要な基本的知識を学ぶ。

到達目標

- (1) 小児期の主な疾患とその病態生理が理解できる
- (2) 健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響について説明できる
- (3) 健康を障害された子どもとその家族のQOLを高める看護ケアが説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	5	胎児循環と新生児循環などのレポート
上記以外	25	小テスト(毎回実施)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
2	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	小児臨床看護学演習/							担当教員	玉川 あゆみ/川端 智子/古株 ひろみ
講義コード	1500323	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

小児看護学概論、小児臨床看護学を踏まえて、様々な健康レベルや成長発達に応じた援助方法や技術 について学ぶ。また健康障害がどのように子どもの成長発達や家族に影響するのかを事例を通して理解し、小児看護実践を行うために必要な知識・技術・倫理観を習得する。

到達目標

- (1) 事例を通して子どもを対象とした看護過程の展開ができる。
- (2) 小児看護における援助技術を習得できる。
- (3) 健康な子どもと活動を共にし、子どもの援助について発達段階をふまえた説明ができる。
- (4) 小児看護においてよく遭遇する倫理的な問題について解決方法を具体的に述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標の(2)について評価する。
レポート課題	60	到達目標(1)は看護過程個人ワーク15点、看護過程グループワーク(プレゼンテーションを含む)5点で評価する。 到達目標(2)は技術演習レポート15点で評価する。 到達目標(3)は保育園・幼稚園見学実習レポート(プレゼンテーションを含む)15点で評価する。
上記以外		

欠席 - 8点/回、遅刻、早退は-4点/回、演習時の不適切な身だしなみや他者への迷惑行為 - 2点/回減点とする。
ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない(ただし3分の1以内でも、保育園・幼稚園見学を欠席した者は評価対象にしない)。

授業外学習

技術演習のレポート・看護過程の展開などの課題有り

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学概論 小児保健	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3285-6
2	健康障害をもつ小児の看護	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3286-3
3	小児看護技術	添田啓子	メヂカルフレンド社	978-4-8392-1593-4

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

専門基礎科目など基礎的知識
小児看護学概論、小児臨床看護学を履修していることが望ましい

履修資格

講義名	小児臨床看護学実習/							担当教員	玉川 あゆみ/川端 智子/古株 ひろみ
講義コード	1500324	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

入院中の子どもの疾患・治療・成長発達・生活・家族の状態を総合的に理解し、子どもと家族のニーズをふまえ、個別性に応じた計画的な看護実践が展開できる基礎的な能力を養う。

到達目標

- (1) 患児の成長発達に応じたコミュニケーションや遊びができる。
- (2) 小児期の健康障害が、家族に及ぼす影響を理解できる。
- (3) 看護ニーズに関する情報を系統的に収集し、理論的根拠に基づいたアセスメント・診断・計画立案ができる。
- (4) 患児の個別性に応じた安全なケアを実施し、計画の評価・修正ができる。
- (5) 患児とその家族の人権を尊重し、個人情報・プライバシーを保護できる。
- (6) 看護者として主体性と協調性を持った意欲的な実習への取り組みができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標は実習記録、ケアやカンファレンスの内容、面談などから実習期間を通し実習評価項目に基づき総合的に評価する。評価比率は(1):14%、(2):6%、(3):24%、(4):16%、(5):16%、(6):24%である。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

遅刻・早退は-7点/回、欠席-14点/回とする。
学校感染症による出席停止の場合は追実習を実施する。

授業外学習

子どもの身体的および心理・社会的発達、認知・言語的発達
子どもに特徴的な症状や疾患と看護

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学概論	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3285-6
2	健康障害をもつ小児の看護	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3286-3
3	小児看護技術	添田啓子	メヂカルフレンド社	978-4-8392-1593-4

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格となる修得科目の学習内容が習得できている

履修資格

講義名	疾病論							担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 古株 ひろみ / 越山 雅文 / 未定 * / 安原 治
講義コード	1500325	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR208								

授業概要

人体のしくみは神経系、内分泌系、循環・免疫系の縦系と各臓器別の横系によって織りなされている。この人体の正常構造と機能を理解した上で、循環器疾患、消化管疾患、肝臓・胆嚢・膵臓疾患、内分泌・代謝性疾患、腎・尿路疾患、脳神経疾患の病態生理、症状、検査と治療法の基礎知識を学び、看護に必要な病気の理解を深める。

到達目標

- (1) 臓器別に主要疾患の成り立ち(原因)と症状・徴候が説明できる。
(2) 臓器別に主要疾患の診断法および治療法が説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題	50	
上記以外		

各担当者の配点の合計を総合点数とする

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学〔2〕～〔8〕、〔10〕、〔11〕		医学書院	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

1 回生時の授業科目「体のしくみと機能 および 」を履修・理解していること。

履修資格

講義名	疾病論							担当教員	越山 雅文 / 甘佐 京子
講義コード	1500326	単位数	1	開講期	後期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR209								

授業概要

<前半4回>
 女性の性ステロイドホルモンの調整機構を理解した上で、その異常を学ぶ。
 更年期の病態生理を学ぶ。
 女性の膣・外陰・子宮・卵巣のそれぞれの臓器における疾患の病態を理解した上で、診断や治療を学ぶ。
 新生児における代表的な疾患の病態を理解した上で、診断と治療を学ぶ。
 <後半4回>
 精神医学が対象としている代表的な疾患の病因、病理、疫学および、代表的な精神科治療の概要について学ぶ。

到達目標

<前半>
 (1)成人女性の性ホルモンの調整機構が説明できる。
 (2)月経異常の病態生理が説明できる。
 (3)婦人科疾患の病態生理と診断、治療を説明できる。
 (4)新生児の特徴を理解し説明できる。新生児の代表的疾患に関して、病態生理の説明と診断、管理ができる。
 <後半>
 (1)代表的な精神疾患の病因、病理について説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	婦人科疾患 & 新生児疾患：100% (60点以上) 精神疾患に関しては、小テストを3回実施(小テスト60%定期テスト30%)
レポート課題		
上記以外		

成績は、得点率を婦人科疾患50%、精神疾患50%とし、双方合わせて100点満点に換算して最終得点を出します。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学9 女性生殖器	末岡浩 他	医学書院	978-4-260-02184-5
2	新生児学入門	仁志田 博司	医学書院	978-4-260-01433-5
3	精神看護学	川野雅資 編	ヌーベル廣川	978-4-86174-065-7

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	精神保健論							担当教員	甘佐 京子 / 下通 友美 / 牧野 耕次
講義コード	1500327	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR211								

授業概要

精神保健(mental health)の概念を理解し、心の機能や働きについて学習する。また、ライフサイクルに応じた精神社会的発達をベースに、発達年齢における心の健康問題についても学習する。さらに、様々な生活の場において生じる心の健康問題や、それに対する予防や社会的な施策についても学びを深める。特に、生活の場については、滋賀県における心の健康問題の現状や、それに対する取り組み状況についても情報として提供していく。

到達目標

精神保健の概念を理解し、心の機能や働き、またその発達過程について理解する。
エリクソンの発達理論を基に、ライフサイクルにおける心理社会的発達について理解する。
様々な社会病理現象を通して、様々な生活の場や状況における、心の健康問題および心の健康維持増進について考えることができる。
自己の心の発達および、心の健康維持増進について考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	こころの機能と働き・ストレスと危機についての理解10% ライフサイクルと心の健康についての理解 20% 生活の場と心の健康についての理解10%
レポート課題	30	課題 : 自分に生じた防衛機制 3~4 : レポートの提出ができ、防衛機制の中から3点選び、自分が今までに無意識に行っていた行動と防衛機制について、例を出して説明できるが、解釈の誤りが見られる。
上記以外	20	毎授業事のレスポンスペーパーによるミニレポートの提出(感想・質問等)

レスポンスペーパーの未提出(理由なく)は、1回につきマイナス5点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学		南江堂	
2	精神看護学		南江堂	
3				

人間看護学部の学生は必ずテキストを購入すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生涯人間発達論	服部祥子	医学書院	
2	精神看護学ノート	武井麻子	医学書院	
3	精神看護学	吉松和哉	ヌーベル廣川	

内容は看護のテキストに限定せずプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	栄養学							担当教員	小澤 恵子
講義コード	1500328	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR210								

授業概要

エネルギーや栄養素の必要量は、個々人によって違いがある。栄養状態のアセスメント法を習得し、評価にあわせた栄養ケアが提案できるよう、栄養素の名前、栄養素の働きを学習する。
健康な生活を維持するため、日常の食生活を見直すと共に、臨床栄養について学習し、各種疾患に対する栄養素のかかわりと、治療食を理解する。

到達目標

- (1) 栄養状態のアセスメントの重要性を理解し、アセスメント法を習得する。
- (2) 生命体および人間にとっての栄養の意義を理解する。
- (3) 人体の成長、健康の維持・増進、にむけての知識・技術を習得する。
- (4) 臨床において疾患の治療に向けた知識・技術を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	
レポート課題		
上記以外	20	レスポンスカードにより、授業の理解度と授業に対する取り組みの態度を評価する。(20%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能	小野 杉山 鈴木 外山 中村	医学書院	978-4-260-01993-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	小児看護学							担当教員	古株 ひろみ / 川端 智子 / 玉川 あゆみ
講義コード	1500329	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR226								

授業概要

小児期の主な健康障害を理解し、生活上の問題、看護援助の方法、小児期の主な疾患とその病態生理、健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響について理解し、健康障害に応じた看護過程を実践する上で必要な基本的知識を学ぶ。

到達目標

- (1) 小児期の主な疾患とその病態生理が理解できる
(2) 健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響について説明できる
(3) 健康を障害された子どもとその家族のQOLを高める看護ケアが説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	5	胎児循環と新生児循環などのレポート
上記以外	25	小テスト(毎回実施)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
2	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	成人看護学概論							担当教員	糸島 陽子
講義コード	1500452	単位数	1	開講期	後期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR221-C								

授業概要

成人期の特徴（発達段階、発達課題、健康問題）、生活と健康を守るシステム、地域（滋賀県）の成人保健活動の取り組みなどについて知る。また、成人看護に活用する理論を用いて、各局面（急性期・回復期・慢性期・終末期）の基本的な看護の特徴について学ぶ。

到達目標

- (1) 成人期にある人の特徴を理解できる。
(2) 成人期にある人の生活と健康を守る保健・医療・福祉システムについて理解できる。
(3) 成人看護に活用する概念・理論をもちいて、各局面における基本的な看護の特徴を理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(1) 20% 到達目標(2) 20% 到達目標(3) 20%
レポート課題	40%	到達目標(1) 10% 到達目標(2) 20% 到達目標(3) 10%
上記以外		

授業外学習

青年期・壮年期・向老期にある成人いずれか1名にインタビューを行い、成人期の特徴について理解を深める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシンググラフィカ 成人看護学 成人看護学概論	安酸史子	MCメディカ	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

1年次前期の必修科目を履修している

履修資格

講義名	成人クリティカルケア演習							担当教員	荒川 千登世 / 生田 宴里
講義コード	1500453	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	341NUR302								

授業概要

成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の身体的・心理的・社会的看護問題を理解し、看護援助を展開するために必要な基礎的知識、技術、態度を学ぶ。
ここでは、手術を受ける患者（模擬患者）への術前から術後・回復期の看護過程の展開を試みることにより、生命の危機的状況における看護について考える。

到達目標

- 1) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、身体的・心理的・社会的看護問題を理解するために必要な知識を理解できる。
- 2) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、看護過程の展開のために必要な情報を理解できる。
- 3) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、周術期における生体の変化（侵襲・生体反応・回復過程）を理解できる。
- 4) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、術後合併症の予防・早期発見・回復促進にむけた看護介入を理解できる。
- 5) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、周術期におけるセルフケア充足のための援助を理解できる。
- 6) チーム（グループ）としての自己の役割・責任の自覚がもてる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	
レポート課題		
上記以外	60%	期末試験40%と演習60%(参加状況10%、計画立案・発表20%、技術チェック10%、課題ノート20%)で総合的に評価する。参加状況10%は学生間のピア評価(グループ間評価5%、グループ内メンバー評価5%)とする。

授業外学習

実習でも活用する「課題ノート」を作成することにより、予習復習をおこなう。
グループワークや技術練習など、計画的にすすめる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 健康 危機状況/セルフケアの再獲得	安酸 史子	メディカ出版	
2	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 周術 期看護	中島恵美子	メディカ出版	
3				

高齢者と成人の周手術期看護2 術中/術後の生体反応と急性期看護 竹内登美子 医歯薬出版

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ22 成人看護学 成 人看護学概論	安酸史子	メディカ出版	
2	高齢者と成人の周手術期看護2 術中/術後の 生体反応と急性期看護	竹内登美子	医歯薬出版	
3	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過 程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	

周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護 鎌倉 やよい 医学書院

前提学力等

成人期の特徴および発達段階の理解
外科的疾患や治療に関する身体構造と機能、病態生理の理解

履修資格

講義名	成人クリティカルケア実習							担当教員	生田 宴里 / 荒川 千登世 / 伊藤 あゆみ / 喜多下 真里 / 大門 裕子 / 中川 美和
講義コード	1500454	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	341NUR305								

授業概要

周術期における成人期特有の健康問題をもつ患者とその家族（重要他者）の身体的・心理的・社会的看護問題を理解し、看護援助を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。

到達目標

- 1) 周術期にある患者の病態生理、手術治療や麻酔法とその影響、回復過程に関する基礎的理解ができる。
- 2) 周術期にある患者とその家族（重要他者）の心理的ストレス状況の理解と対処への働きかけが理解できる。
- 3) 急性期、回復期、社会復帰における患者とその家族（重要他者）の看護計画が立案できる。
- 4) 周術期にある患者とその家族（重要他者）の生命と権利を尊重した看護を実施できる。
- 5) 実施した看護に対して、客観的に評価できる。
- 6) 周術期の患者の援助をとおして、医療チームや学生グループにおける自己の役割・責任にもとづく行動がとれる。
- 7) 周術期の看護について、看護および看護に関連する概念や理論を活用し、論理的に洞察する。
- 8) 周術期にある患者とその家族（重要他者）の看護をとおして、自己の看護への思いを表現できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標について、下記項目から総合的に評価する。 1) 実習記録

成績評価の詳細は、「成人クリティカルケア実習評価表」を参照すること。
単位認定には、すべての到達目標で「レベル2(可)」以上を必要とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ 成人看護学「健康危機状況/セルフケアの再獲得」	安酸 史子 他	メディカ出版	
2	ナーシング・グラフィカ 成人看護学「周術期看護」	中島恵美子 他	メディカ出版	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ 成人看護学「成人看護学概論」	安酸史子 他	メディカ出版	
2	周手術期看護2「術中/術後の生体反応と急性期看護」	竹内登美子	医歯薬出版	
3	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	

周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護 鎌倉やよい 医学書院

前提学力等

3年前期までの専門科目（実習を含む）専門基礎科目における必須科目の単位をすべて修得

履修資格

講義名	成人クロニックケア演習							担当教員	大門 裕子 / 中川 美和 / 横井 和美
講義コード	1500455	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習		
ナンバリング番号	241NUR301								

授業概要

成人期において慢性的な健康障害を持つ人々が、病いと治療・療養生活に折り合いをつけながら、その人らしく生きていくことを支援する方法について事例を通して学習し、実践のための基礎的な知識・技術・態度を習得する。また、療養生活を支援していく看護のさまざまな場面での役割を学ぶ。

到達目標

- (1) 療養生活を自分なりに調整しながら慢性の病と共に生きている患者・家族を全人的に理解する知識をもつ。
- (2) 慢性の病と共に生きる患者・家族の療養生活を支える態度を養う。
- (3) 慢性の病と共に生きる患者・家族の療養生活を支える技術を養う。
- (4) 慢性の病と共に生きる患者・家族の療養環境の調整や地域生活への支援を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	
レポート課題	40%	演習記録を含む
上記以外	10%	小テスト

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学 慢性期看護論 [第3版]	鈴木志津枝 藤田佐和 編集	NUVELLE HIROKAWA	978-4-86174-061-9
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 [第5版]	江川隆子 編集	NUVELLE HIROKAWA	978-4-86174-067-1
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル	黒江ゆり子 訳	医学書院	978-4-260-34172-1
2	これなら使える看護診断 厳選NANDA - 1 看護診断83	江川隆子 編集	医学書院	978-4-260-01846-3
3	NANDA-I看護診断定義と分類 2015-2017原書第10版	T.ヘザー・ハードマン / 上鶴重美 原書編集	医学書院	978-4-260-02088-6

江川隆子 編集 : これなら使える看護介入 厳選47 NANDA-I看護診断への看護介入 (第2版) (医学書院) ISBN978-4-260-01956-9

前提学力等

成人看護学や基礎看護学実習 を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	成人クロニックケア実習							担当教員	中川 美和 / 生田 宴里 / 伊藤 あゆみ / 喜多下 真里 / 大門 裕子 / 横井 和美
講義コード	1500456	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	341NUR304								

授業概要

成人期における慢性的な健康障害を持つ人々の健康問題に対して、身体・心理社会面を含めた包括的アセスメントを行い、その人が病いと療養生活に折り合いをつけながら、その人らしく生きていくことを尊重した看護実践力を習得する。また、患者の治療・療養生活の継続にあたって、患者の家族（重要他者）や療養環境についても理解を深め、クロニックケアのあり方を追究する。

到達目標

1. 慢性的な健康問題をもつ患者とその家族（重要他者）を全人的に理解できる
2. 慢性的な健康問題をもつ患者とその家族（重要他者）の意思を尊重した援助的人間関係が樹立できる
3. 受け持ち患者の治療的 management と退院後地域での生活に向けた調整を考慮した個別的な看護計画が立案できる
4. 援助の目的・必要性を理解したうえで患者の意思とセルフマネジメント力を考慮した、安全かつ安楽な方法で看護を実施できる
5. 実施した看護に対して、受け持ち患者の在宅生活を見据えた客観的な評価ができる。
6. 受け持ち患者を取り巻くすべての支援者との連携の必要性が理解でき、チームメンバーとしての自己の役割・責任にもとづく行動がとれる
7. クロニックケア（慢性期看護）について、看護および看護に関連する概念や理論を活用し、論理的に看護を洞察する。
8. 慢性的な健康問題をもつ患者とその家族（重要他者）への看護をとおして、自己の看護への思いを表現できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	10%	
上記以外	90%	実習記録、実習実施状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	精神臨床看護学/							担当教員	甘佐 京子 / 下通 友美 / 牧野 耕次
講義コード	1500461	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

精神看護を实践する上で必要な精神医学の知識を学ぶ。精神医学が対象としている代表的な疾患の病因・病理・疫学・検査・診断法および、精神疾患患者の回復から自立に向けた代表的な精神科治療の概要を学ぶ。

到達目標

精神科医療の歴史の変遷および法制度について理解する。
 主な精神疾患の概要を知るとともに、その症状が対象の生活に及ぼす影響について理解する。
 精神科医療の治療法について理解する。
 精神障害に応じた看護について考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	精神疾患の理解 40% 精神疾患の治療 40% 精神化領域の検査 20%
レポート課題		
上記以外	50	小テスト6回 合計点数を50点満点に換算

前回ならなかったことを含めた簡単な6回の小テストをします。

理由なくレスポンスペーパー未提出1回につき5点減点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

精神看護学 (NOUVELLE HIROKAWA)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に、参考資料配布

前提学力等

メンタルヘルスクアの履修していることが望ましい；メンタルヘルスクアで学習した精神疾患の疾患分類・精神症状の基礎について理解していること

履修資格

講義名	成人臨床看護学/							担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子
講義コード	1500462	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

成人期にある人々とその家族（重要他者）の健康問題について、クリティカル・クロニック・エンドオブライフの特徴をふまえて理解し、看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。
乳がん患者の事例をとおりて、各局面における看護を学ぶ。

到達目標

- 1) 成人期にある人々とその家族（重要他者）の各局面（クリティカル・クロニック・エンドオブライフ）の特徴を理解できる。
- 2) 各局面の健康問題に対する援助のあり方について検討する。
- 3) 各局面の看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を養う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	
レポート課題	30%	
上記以外	10%	ミニレポート

各担当者（各局面）の評価点の合計を得点とする。ただし、各担当者（各局面）の6割を必要とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学 慢性期看護論	鈴木志津枝 藤田佐和 編集	NUVELLE HIROKAWA	978-4-86174-061-9
2	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 ケア	宮下光令	メディカ出版	
3	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 健康危機状況 / セルフケアの再獲得	安酸 史子	メディカ出版	

ナーシング・グラフィカ 成人看護学 周手術看護 中島 恵美子編 メディカ出版

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル	黒江ゆり子 訳	医学書院	
2	高齢者と成人の周手術期看護 2 術中 / 術後の生体反応と急性期看護	竹内登美子 編集	医歯薬出版	
3	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子 編	ヌーヴェルヒロカワ	

周手術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護 鎌倉 やよい 医学書院

前提学力等

成人看護学概論を履修している

履修資格

講義名	精神臨床看護学演習/							担当教員	牧野 耕次 / 甘佐 京子 / 下通 友美
講義コード	1500463	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

精神領域の臨床現場で直面する看護現象へ介入・参加できるように、精神保健看護学、精神臨床看護学等の知識の統合を図る。加えて、患者を支える家族側の問題・力量をアセスメントする方法を学習し、家族への心理教育についても理解を深める。演習のまとめでは、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例を用いた模擬看護過程を実施する。

到達目標

- (1)精神領域の臨床現場で直面する看護現象へ介入・参加できるように、精神保健看護学、精神臨床看護学等の知識の統合を図ることができる。
- (2)患者を支える家族側の問題・力量をアセスメントする方法を学習し、家族への心理教育についても理解を深めることができる。
- (3)臨地実習に向けて、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例を用いた模擬看護過程を展開することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	本科目の到達目標を達成するために授業の中から、精神臨床看護学、患者を支える家族側の問題・力量をアセスメントする方法、家族への心理教育、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例などに関する問いに対して、解答することができる。
レポート課題	20%	小テスト 精神領域の臨床現場で直面する看護現象へ介入・参加できるように、精神保健看護学、精神臨床看護学等の知識の統合を図ることができる。具体的には、第7回の授業から出題する。
上記以外	40%	グループワーク課題 臨地実習に向けて、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例を用いた模擬看護過程を展開することができる。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学 - 学生・患者のストーリーで綴る 実習展開 - 第2版	田中美恵子編	医歯薬出版株式会社	978-4-263-23673-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

履修資格

講義名	精神臨床看護学実習/							担当教員	牧野 耕次 / 甘佐 京子 / 下通 友美
講義コード	1500464	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

これまでに習得した精神看護に必要な知識・技術・態度を実際場面に応用し、理論と実践を統合した看護活動を展開する。

到達目標

- 1) 精神的疾患や精神的問題を抱える人のありようを、オレム=アンダーウッドによるセルフケア理論等の理論をとおして理解できる。
- 2) 時間の流れの中における生活者としてのその人を理解できる。
- 3) 対人関係モデルや対人関係形成技術を用いて患者 - 看護師関係の形成およびその評価ができる。
- 4) 看護過程モデルに従い、精神疾患や精神的問題を抱えるその人のありように応じた看護過程の展開ができる。
- 5) 精神科治療機関や地域で行われている保健・医療・福祉アプローチを理解できる。
- 6) 責任感・積極性・協調性・礼節などについて、専門職として必要な態度をとることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	上記の到達目標（実習目標）にそった評価を実習記録（精神臨床看護学演習評価表）を用いて行う。 詳細は、実習要項精-16ページに掲載している。

授業外学習

事前学習（実習要項精-2ページ）
1) 代表的な精神科疾患とその治療について

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

精神看護学実習 学生-患者のストーリーで綴る実習展開、田中美恵子 編、医歯薬出版株式会社

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	成人看護学							担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子
講義コード	1500465	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR222								

授業概要

成人期にある人々とその家族（重要他者）の健康問題について、クリティカル・クロニック・エンドオブライフの特徴をふまえて理解し、看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。
乳がん患者の事例をととして、各局面における看護を学ぶ。

到達目標

- 1) 成人期にある人々とその家族（重要他者）の各局面（クリティカル・クロニック・エンドオブライフ）の特徴を理解できる。
- 2) 各局面の健康問題に対する援助のあり方について検討する。
- 3) 各局面の看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を養う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	
レポート課題	30%	
上記以外	10%	ミニレポート

各担当者（各局面）の評価点の合計を得点とする。ただし、各担当者（各局面）の6割を必要とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学 慢性期看護論	鈴木志津枝 藤田佐和 編集	NUVELLE HIROKAWA	978-4-86174-061-9
2	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 ケア	緩和 宮下光令	メディカ出版	
3	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 健康 危機状況 / セルフケアの再獲得	安酸 史子	メディカ出版	

ナーシング・グラフィカ 成人看護学 周手期看護 中島 恵美子編 メディカ出版

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル	黒江ゆり子 訳	医学書院	
2	高齢者と成人の周手術期看護 2 術中 / 術後の生体反応と急性期看護	竹内登美子 編集	医歯薬出版	
3	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子 編	ヌーヴェルヒロカワ	

周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護 鎌倉 やよい 医学書院

前提学力等

成人看護学概論を履修している

履修資格

講義名	卒業研究(人間看護)							担当教員	学科教員/甘佐 京子/荒川 千登世/ 伊丹 君和/板谷 裕美/伊藤 あゆみ/ 糸島 陽子/大脇 万起子/川端 智子/ 川端 愛野/喜多下 真里/窪田 好恵/ 河野 益美/古株 ひろみ/越山 雅文/ 小林 孝子/大門 裕子/濱野 裕華/ 馬場 文/平田 弘美/古川 洋子/
講義コード	1500580	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	441NUR402								

授業概要

学生個人が研究テーマを設定し、既習した知識を統合して、研究活動を実践する。

到達目標

基礎的な研究方法や問題解決方法を学び、将来の研究活動の基盤となる研究に関する基礎の知識・技術を体得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	卒業研究で学習した研究成果(論文)により評価する

学習態度も評価項目に含む

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

3年次終了時において、3年次に習得しておくべき必修単位を全て修得しておくこと

履修資格

講義名	卒業研究（人間看護）							担当教員	学科教員／甘佐 京子／荒川 千登世／伊丹 君和／板谷 裕美／伊藤 あゆみ／系島 陽子／大脇 万起子／川端 智子／川端 愛野／喜多下 真里／窪田 好恵／河野 益美／古株 ひろみ／越山 雅文／小林 孝子／大門 裕子／濱野 裕華／馬場 文／平田 弘美／古川 洋子／
講義コード	1500580	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	441NUR402								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第2回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第3回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第4回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第5回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第6回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第7回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第8回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第9回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第10回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第11回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第12回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第13回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第14回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第15回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第16回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第17回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第18回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第19回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第20回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第21回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第22回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第23回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第24回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第25回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第26回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第27回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第28回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第29回	研究発表会	研究成果の発表会を実施する
第30回	研究発表会	研究成果の発表会を実施する
担当者から一言		
卒業論文作成の手引きを参照のこと		

講義名	地域母子保健/							担当教員	板谷 裕美 / 古川 洋子
講義コード	1500731	単位数	1	開講期	前期後半	授業種別	講		
ナンバリング番号									

授業概要

母子保健の現状と動向を踏まえ、基本的な母子保健行政の仕組み・制度・施策を学ぶ。
母子保健活動の実際を知り、活動展開のための理論と方法を学ぶ。

到達目標

- (1) 地域母子保健にかかわる主要概念を理解できる。
- (2) 母子保健の現状と動向から健康について理解できる。
- (3) 母子保健活動の理論と実際を理解する。
- (4) 地域母子保健活動を展開する場と特徴を知る。
- (5) 地域の特徴を踏まえて、今後の母子保健のあり方について自らの考えを述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	レポート課題と講義後のレスポンスペーパーを総合的に評価する。 目標1～5、各20%の配分とし、合計100%とする。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健	我部山キヨ子他編	医学書院	978 - 4 - 260 - 00971 - 3
2	母子保健の主なる統計	母子衛生研究会編	母子保健事業団発行	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	明日からの訪問活動に役立つ! 新生児訪問・乳児家庭全戸訪問活動実践マニュアル	大阪府助産師会 子育て・女性の健康支援センター		
2				
3				

講義中にプリントや適宜参考図書を紹介します

前提学力等

履修資格

講義名	チャイルドライフケア論							担当教員	古株 ひろみ / 川端 智子 / 玉川 あゆみ
講義コード	1500732	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR323								

授業概要

代表的な発達理論、各期の成長発達の特徴について知識を重ね、地域で生活している子どもの成長発達を促す科学的根拠に基づいた小児看護援助技術能力を育成する。特に、看護の基盤となる看護倫理と子どもの最善の利益を追求するケアについて考察する。

到達目標

- (1) 子どもの権利を踏まえて自分なりの子ども観が説明できる。
- (2) 発達の理論を踏まえて、発達に応じた子どもの理解力が説明できる。
- (3) 発達や疾患の特徴を踏まえた個別性に応じたプレバレーションが実施できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	到達目標(1)については25%、(2)については25%で評価する
上記以外	50	到達目標(3)についてはプレゼンテーションにて(50%)で評価する

遅刻、早退は-2点/回で減点とする。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ただし、欠格条件として、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしないこととする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
2	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
3				

適宜配布する資料を使用する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

4年次の履修が望ましい。

履修資格

講義名	治療的コミュニケーション技術論/							担当教員	甘佐 京子 / 下通 友美 / 牧野 耕次
講義コード	1500733	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

看護師・助産師・保健師などの看護職をはじめとする、対人関係を伴う専門職として、人間関係形成プロセスを理解し、それを構築していくためのコミュニケーション技術を身に付けること。また、人間関係の中で生じる様々な問題について、「関わり」、「自己理解」、「アサーション」、「レジリエンス」をキーワードとして、自らマネジメントしていけるようセルフコントロール能力を養うことを目標とする。

到達目標

1. 関わりの4つの視点について理解できる
2. 関わりの4つの視点をどのように活用していけるか考えることができる。
3. 看護専門職者として意図的なコミュニケーション技術を活用することができる。
4. コミュニケーション技術の担い手として自己理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	終了時レポート 「技術としてコミュニケーションを活用する意味」
上記以外	50	授業終了時のミニレポート7回分を50点満点に換算

授業の参加状況およびミニレポート(4~5回)50%
終了時課題レポート50%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは指定しない

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「異和感」と援助者のアイでティティ	宮本真澄	日本看護協会出版会	
2	思いやりの人間関係スキル	R・ネルソン	誠心書房	
3	看護のコミュニケーション	ジュリア・バルザー・ライリー	エルゼビアジャパン	

前提学力等

履修資格

講義名	人間看護学概論							担当教員	窪田 好恵
講義コード	1500734	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	141NUR213-C								

授業概要

看護の概念、保健医療福祉システムと看護の位置づけおよび役割について概観し、看護固有の価値と今後の展望について学ぶ。特に、看護の対象である人間を身体的および心理・社会的な側面から捉え、環境と相互作用しながら生活している統合的存在であることを理解する。人が人として生きることを支える看護の在り方を強調し、人間看護の意義を考察する。

到達目標

- (1) 人間の健康を三側面から捉え、環境からの影響を受けていることを、生活場面を通して関連づける。
- (2) 人間について、生物体・生活体の統合体であり、成長・発達していることを説明できる。
- (3) 看護の概念を理解し、医療・保健・福祉システムの概要を学び、看護の役割を述べるができる。
- (4) 看護に関連した歴史や法制度を説明できる。
- (5) 地域（滋賀県）における医療機関の専門性と看護の特徴を知る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80%	到達目標(1)(3)(5)について、レポート課題を課す。
上記以外	20%	到達目標(2)(4)について小テスト等を課す。

欠席 1回で8点を減ずる。
遅刻 3回で4点を減ずる。
3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

毎回の授業の予習復習は必ず行っておくこと
「看護覚え書」は通読しておくこと

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護学概論	茂野香おる他編	医学書院	
2	看護覚え書-看護であること看護でないこと-(第7版)	フローレンス・ナイチンゲール：湯橋ます他訳	現代社	
3				

参考資料は適宜配布または紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン：湯橋ます他訳	日本看護協会出版会	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間看護学統合実習/							担当教員	窪田 好恵 / 学科教員
講義コード	1500741	単位数	3	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	441NUR401								

授業概要

基礎分野，専門分野で学習した知識，技術，態度を統合し，臨床の実践に近いかたちで看護を提供する方法を学び，看護実践能力を身につける。

到達目標

- 1) 看護管理の視点から看護サービスマネジメントの実際を見学し，病院・看護部および看護単位の組織や役割を考察できる。
- 2) 病院における医療安全部門・感染管理部門の活動，専門看護師・認定看護師の活動について見学し，組織の中で，それらの役割を考察できる。
- 3) 看護師長，副看護師長（主任），チームリーダーの病棟や外来での業務の実際を見学し，看護サービスマネジメントのあり方，リーダーシップ，管理者の役割について考察できる。
- 4) 複数の患者を受け持つ看護師の業務を見学し，ケアに参加することで，ケアマネジメントのあり方，メンバー・シップ，継続看護（24時間）について考察できる。
- 5) 他職種との協働・連携を見学し，チーム医療・地域連携のあり方を考察できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	実習要項の評価表を参照
上記以外	80%	実習要項の評価表を参照

- 次の項目に基づき総合的に評価し，単位認定を行う。
1. 実習目標への到達度（援助技術到達度を含む）60%
 2. 実習への取り組み状況 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

実習オリエンテーション時に「人間看護学統合実習要項」・資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

- ・3年次後期の専門科目の必修科目をすべて修得しておくこと
- ・各論実習の単位をすべて修得していること

履修資格

講義名	人間看護学統合実習/							担当教員	窪田 好恵 / 学科教員
講義コード	1500741	単位数	3	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	441NUR401								

授業計画

実習の展開

1) 具体的な3週間のスケジュールについて (祝日によって内容の変更あり)

第1週

学内 月 ・実習概要説明
・実習目的の明確化 ・文献検索・実習計画

臨地 火 ・病院オリエンテーション
・看護部門紹介 ・病棟オリエンテーション

臨地 水 ・医療安全管理室の見学
(危機管理・防災対策を含む) ・認定看護師の業務の見学 ・専門看護師に業務の見学

臨地 木 ・外来部門の看護師の業務の見学 ・地域連携室の見学

臨地 金 ・看護師長の業務見学 ・看護師長の業務見学

第2週

臨地 月 ・副看護師長・主任の業務見学 ・副看護師長・主任の業務見学

臨地 火 ・チームリーダー看護師の業務見学 ・チームリーダー看護師の業務見学

臨地 水 ・スタッフ看護師の業務見学および参加 ・スタッフ看護師の業務見学および参加

臨地 木 ・スタッフ看護師の業務見学および参加 ・スタッフ看護師の業務見学および参加

学内 金 ・看護管理実習のまとめ ・看護管理実習の記録

第3週

祝日 月 祝日

臨地 火 ・看護師と共に高齢患者のケアに参加する
・未経験の看護技術の実施 ・看護師と共に高齢患者のケアに参加する

臨地 水 同上

臨地 木 同上

臨地 金 同上

学内 金 ・課題レポート作成

・自己評価 ・課題レポート作成

・実習記録整理

担当者から一言

4年間の総まとめとしての実習です。また、卒業後に就職する臨床の理解にもつながりますので、積極的に実習に臨んでください。

講義名	人間性心理論/							担当教員	甘佐 京子 / 下通 友美 / 牧野 耕次
講義コード	1500780	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

精神保健(mental health)の概念を理解し、心の機能や働きについて学習する。また、ライフサイクルに応じた精神社会的発達をベースに、発達年齢における心の健康問題についても学習する。さらに、様々な生活の場において生じる心の健康問題や、それに対する予防や社会的な施策についても学びを深める。特に、生活の場については、滋賀県における心の健康問題の現状や、それに対する取り組み状況についても情報として提供していく。

到達目標

精神保健の概念を理解し、心の機能や働き、またその発達過程について理解する。
エリクソンの発達理論を基に、ライフサイクルにおける心理社会的発達について理解する。
様々な社会病理現象を通して、様々な生活の場や状況における、心の健康問題および心の健康維持増進について考えることができる。
自己の心の発達および、心の健康維持増進について考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	こころの機能と働き・ストレスと危機についての理解10% ライフサイクルと心の健康についての理解 20% 生活の場と心の健康についての理解10%
レポート課題	30	課題 : 自分に生じた防衛機制 3～4 : レポートの提出ができ、防衛機制の中から3点選び、自分が今までに無意識に行っていた行動と防衛機制について、例を出して説明できるが、解釈の誤りが見られる。
上記以外	20	毎授業事のレスポンスペーパーによるミニレポートの提出(感想・質問等)

レスポンスペーパーの未提出(理由なく)は、1回につきマイナス5点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学		南江堂	
2	精神看護学		南江堂	
3				

人間看護学部の学生は必ずテキストを購入すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生涯人間発達論	服部祥子	医学書院	
2	精神看護学ノート	武井麻子	医学書院	
3	精神看護学	吉松和哉	ヌーベル廣川	

内容は看護のテキストに限定せずプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	ボランティア実践演習							担当教員	伊丹 君和 / 川端 愛野 / 関 恵子 / 米田 照美
講義コード	1500841	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号	441NUR333								

授業概要

ボランティア活動は、人とのつながりのプロセスを学ぶ機会となる。看護を学ぶ学生にとって、人と関わるボランティア活動を体験することは、豊かな感性を育むとともに、コミュニケーション力、企画力、看護力を向上させることにもつながる。ボランティア実践演習では、ボランティアの基礎知識やボランティア活動を行うにあたっての心構えやマナーを学ぶとともに、実際にボランティア実践を行う中で、「誰もが心も身体も健康に生活できる社会」を支えるために自分に何ができるのかを考える。

到達目標

- (1) ボランティア実践を通して学んだことを説明できる。
- (2) ボランティア実践の学びを通して、看護学生として何ができるか考察できる。
- (3) 「誰もが心も身体も健康に生活できる社会」を支えるために自分に何ができるかレポートできる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	目標に沿って課題レポート (1)実践活動レポート30% (2)課題レポート35%
上記以外		

* 学内外問わず、原則として遅刻・早退 - 4点/回、欠席 - 8点/回 とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ホリスティックケア論							担当教員	糸島 陽子 / 甘佐 京子 / 荒川 千登世 / 関 恵子 / 古川 洋子 / 横井 和美
講義コード	1500842	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	441NUR324								

授業概要

ホリスティックケアの世界観・人間観について理解した上で、代表的な代替補完療法の技術を学び、看護師だけでなく保健師、助産師の実践的な看護に生かす方略について検討する。

到達目標

- (1) ホリスティックケアの世界観・人間観について理解できる。
(2) 代表的なホリスティックケアについて理解できる。
(3) 文献・フィールドワークをとおして、ホリスティックケアを看護に活かす方略について探求できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	目標(1) 30% 目標(2) 30% 目標(3) 40%
上記以外		

授業外学習

各講義内容に関する論文を1編以上クリティークして、講義に参加する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義時に紹介します

前提学力等

履修資格

講義名	メンタルヘルスケア/							担当教員	甘佐 京子/下通 友美/牧野 耕次
講義コード	1500843	単位数	2	開講期	通年	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

精神保健(mental health)の概念を理解し、心の機能や働きについて学習する。また、ライフサイクルに応じた精神社会的発達をベースに、発達年齢における心の健康問題についても学習する。さらに、様々な生活の場において生じる心の健康問題や、それに対する予防や社会的な施策についても学びを深める。特に、生活の場については、滋賀県における心の健康問題の現状や、それに対する取り組み状況についても情報として提供していく。

到達目標

精神保健の概念を理解し、心の機能や働き、またその発達過程について理解する。
エリクソンの発達理論を基に、ライフサイクルにおける心理社会的発達について理解する。
様々な社会病理現象を通して、様々な生活の場や状況における、心の健康問題および心の健康維持増進について考えることができる。
自己の心の発達および、心の健康維持増進について考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	こころの機能と働き・ストレスと危機についての理解10% ライフサイクルと心の健康についての理解 20% 生活の場と心の健康についての理解10%
レポート課題	30	課題 : 自分に生じた防衛機制 3~4 : レポートの提出ができ、防衛機制の中から3点選び、自分が今までに無意識に行っていた行動と防衛機制について、例を出して説明できるが、解釈の誤りが見られる。
上記以外	20	毎授業事のレスポンスペーパーによるミニレポートの提出(感想・質問等)

レスポンスペーパーの未提出(理由なく)は、1回につきマイナス5点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学		南江堂	
2	精神看護学		南江堂	
3				

人間看護学部の学生は必ずテキストを購入すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生涯人間発達論	服部祥子	医学書院	
2	精神看護学ノート	武井麻子	医学書院	
3	精神看護学	吉松和哉	ヌーベル廣川	

内容は看護のテキストに限定せずプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	精神看護学							担当教員	甘佐 京子 / 下通 友美 / 牧野 耕次
講義コード	1500844	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR230								

授業概要

精神疾患の基礎知識となる精神症状とその対応、および精神疾患の概念・治療について学ぶ。また、コミュニケーション技法を中心に精神領域における様々な関連技について学習する。その一端として、患者を支える家族の状態をアセスメントする方法を学び家族心理教育についても理解を深める。さらに、精神医療・保健・福祉に関連した法律と患者の権利擁護について、その在り方を考える。

到達目標

1. 精神看護領域で活用される関連技法について理解する
2. 治療的コミュニケーション技術についてその意義と活用の実際について学ぶ
3. 精神症状を持つ患者・家族の理解とその対応について学ぶ。
4. 精神科医療における患者の権利擁護について考えることができる。
5. 精神科領域における治療とそれにかかわる看護について理解する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	毎回授業終了時に、本日の授業内容に関する感想や質問をレスポンスペーパーに記述して提出。内容は、授業内容に応じたものであること。
上記以外		

レスポンスペーパーの未提出(理由なく)：1回につき総得点より5点減点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学	川野雅資 編	ヌーベル廣川	978-4-86174-065-7
2	精神看護学	吉松和哉 編	ヌーベル廣川	978-4-86174-064-0
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	異和感と援助者のアイデンティティ	宮本真巳	日本看護協会出版会	4-8180-0487-1
2	思いやりの人間関係スキル	R・ネルソン・ジョーンズ	誠信書房	4-414-30274-9
3				

授業中に資料を配布

前提学力等

「精神保健論」・「精神看護学概論」を履修していることが望ましい。
「疾病論」を同時期に履修することが望ましい。

履修資格

講義名	精神看護学概論							担当教員	甘佐 京子 / 下通 友美 / 牧野 耕次
講義コード	1500847	単位数	1	開講期	前期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR229-C								

授業概要

精神看護領域で用いられる看護理論について学習し、精神看護の基本的概念を理解する。また、国内外の精神医療・看護の歴史の変遷を知ることによって精神疾患に対するスティグマの存在を理解するとともに、地域社会(滋賀県内の現状も含む)における支援の実際についても理解を深める。

到達目標

1. 精神看護の基本概念を理解する
2. 精神看護で使われる理論をもとに看護の対象理解を学ぶ
3. 精神医療福祉の歴史の変遷をもとに、精神疾患に対するスティグマについて理解する。
4. 精神医療・看護の課題について考えるとともに、滋賀県内における精神医療福祉の現状を学ぶ

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	レスポンスペーパーを毎回提出
上記以外		

1単位7.5回の授業構成であるため、1/3(3回)以上欠席した場合評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学	吉松和哉 編	ヌーベル廣川	978-4-86174-064-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その他、資料配布在り

前提学力等

精神保健論を履修していることが望ましい

履修資格

講義名	薬理学							担当教員	土田 勝晴 / 武井 義則 / 竹内 孝治
講義コード	1500941	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR206								

授業概要

生体は通常、自分自身の恒常性維持機能により、健康な状態を維持している。恒常性が保てない状況に陥った時、それを是正する目的で薬物を使用する。この講義を通して、薬物の投与方法、吸収、分布、効果発現様式、作用メカニズム、副作用、排泄に至る一連の薬物作用について学習するが、これは同時に生体調節機構、病態等に関しても理解を深めることに通じている。

到達目標

薬理学の基本概念を学び、薬物の疾病治療への応用と、予防のため使用される薬物の作用、副作用について理解することを目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

各回の講義終了ごとに、教科書付属の整理ノートのポイントを読み、確認問題を解いて復習をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	わかりやすい薬理学 第3版	安原一・小口勝司ら	ヌーヴェルヒロカワ	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめの一步 イラスト薬理学	石井邦雄	羊土社	
2	薬がみえる		メディックメディア	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	老年看護学概論							担当教員	平田 弘美
講義コード	1500991	単位数	1	開講期	前期前半	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR223-C								

授業概要

「古い」や「加齢」とは何かを考え、高齢者の身体的・心理的・社会的変化を知る。老年看護に活用できる概念や理論について理解し、高齢者を取り巻く社会や社会制度について考える。

到達目標

- (1) 「古い」や「加齢」とは何かを考察し、述べることができる。
- (2) 老年期における身体的・心理的・社会的変化を理解できる。
- (3) 高齢者を取り巻く地域・社会や社会制度について理解できる。
- (4) 老年看護に活用できる概念・理論について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	72	添付ファイル参照
レポート課題	13	添付ファイル参照
上記以外	15	添付ファイル参照

授業外学習

レポート課題

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高齢者看護トータルナビ	岡本充子他	メディカ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	老年看護学概論	真田弘美・正木治恵	南江堂	
2	高齢者の健康と障害	堀内ふき 他	メディカ出版	
3	国民衛生の動向			

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	老年看護学演習							担当教員	平田 弘美
講義コード	1500992	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	341NUR307								

授業概要

高齢者の生理的・身体的変化や高齢者に特有な疾患・症状に対する援助方法を理解し、健康問題をもつ高齢者の看護過程展開方法を学ぶ。

到達目標

- (1) 高齢者の生理的・身体的変化を理解できる。
- (2) 高齢者に多い疾患とその特徴を理解できる。
- (3) 健康障害をもつ高齢者の援助方法について理解できる。
- (4) 健康問題をもつ高齢者の看護過程展開方法について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	小テスト30%, 期末試験40%
レポート課題	25	看護過程20%, 疑似体験レポート5%
上記以外	5	グループワーク・発表5%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高齢者看護すぐに実践トータルナビ	岡本充子 他	メディカ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

老年看護学概論を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	老年臨床看護学/							担当教員	平田 弘美
講義コード	1500993	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

高齢者の生理的・身体的変化や高齢者に特有な疾患・症状に対する援助方法を理解し、健康問題をもつ高齢者の看護過程展開方法を学ぶ。

到達目標

- (1) 高齢者の生理的・身体的変化を理解できる。
- (2) 高齢者に多い疾患とその特徴を理解できる。
- (3) 健康障害をもつ高齢者の援助方法について理解できる。
- (4) 健康問題をもつ高齢者の看護過程展開方法について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	小テスト30%, 期末試験40%
レポート課題	25	看護過程20%, 疑似体験レポート5%
上記以外	5	グループワーク・発表5%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高齢者看護すぐに実践トータルナビ	岡本充子 他	メディカ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

老年看護学概論を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	老年臨床看護学演習/						担当教員	平田 弘美 / 松井 宏樹	
講義コード	1500994	単位数	1	開講期	前期	授業種別			演習
ナンバリング番号									

授業概要

健康問題を持つ高齢者を統合的にアセスメントし、個別性を考えた看護を提供するために必要な知識・技術を習得する。

到達目標

- (1) 老年看護実践に必要な知識を習得できる。
- (2) 老年看護実践に必要な看護技術を習得できる。
- (3) 老年看護に必要な情報収集・分析・看護課題抽出・看護計画立案ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	期末試験35%
レポート課題	45	演習時のレポート10% 看護過程のレポート30% グループワーク・発表5%
上記以外	20	フィジカルアセスメント20%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
レポート評価の詳細は、授業開始時に提示する。

授業外学習

基礎看護技術や老年看護学概論、老年臨床看護学で学んだ内容を復習したうえで、演習に参加する。
事前に提示したレポートを持参して、演習に参加する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高齢者看護すぐに実践トータルナビ	岡本充子	メディカ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

老年看護学概論、老年臨床看護学のを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	老年看護学実習/							担当教員	平田 弘美 / 松井 宏樹
講義コード	1500995	単位数	1	開講期	通年実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

老人保健施設の入所フロアや通所リハビリ（デイケア）での実習を通して、老化や障がいが高齢者の日常生活に及ぼす影響について学ぶ。また、高齢者ケアに携わるスタッフの役割やその連携について理解を深める。

到達目標

- (1) 高齢者の身体的・心理的・社会的老化の特徴を理解する。
- (2) 老化や障がいが高齢者の日常生活に及ぼす影響について理解する。
- (3) 高齢者ケアに携わるスタッフの役割やその連携について理解を深める。
- (4) 長い人生を生きてきた高齢者を尊重した姿勢・態度で関わるができる。
- (5) 積極的な態度で実習に取り組むことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標1(観察・記録30%) 到達目標2(観察・記録20%) 到達目標3(観察・記録15%)

臨地実習4日間の3分の2以上の出席をもって評価の対象とする。

授業外学習

事前に以下の内容を復習し、実習に臨む。
高齢者の加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴を復習しておく。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で使用した教科書や資料、参考図書など

前提学力等

3年次前期までの必修科目を修得していること。

履修資格

講義名	老年臨床看護学実習 /							担当教員	平田 弘美 / 松井 宏樹
講義コード	1500996	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

医療施設に入院する高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。健康問題を持つ高齢者の特徴を理解し、高齢者とその家族に応じた看護実践の知識、技術および態度を学ぶ。

到達目標

- (1) 高齢者の健康状態および家族の個別性に合わせた看護過程が展開できる。
- (2) 医療施設における看護師の役割・機能が表現できる。
- (3) 対象および家族に対して、尊重した態度がとれる。
- (4) 専門職にふさわしい態度がとれ、行動ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標1(観察・記録70%) 到達目標2(観察・記録10%) 到達目標3(観察5%)

臨地実習7日間の3分の2以上の出席をもって評価の対象とする。

授業外学習

事前に以下の内容を復習し、実習に臨む。
老年看護学、老年臨床看護学、老年臨床看護学演習で学んだ内容の復習をしておく。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で使用した教科書や資料、参考図書など

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

3年次前期までの必修科目を修得していること。

履修資格

講義名	老年看護学							担当教員	平田 弘美
講義コード	1500997	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR224								

授業概要

高齢者の生理的・身体的変化や高齢者に特有な疾患・症状に対する援助方法を理解し、健康問題をもつ高齢者の看護過程展開方法を学ぶ。

到達目標

- (1) 高齢者の生理的・身体的変化を理解できる。
- (2) 高齢者に多い疾患とその特徴を理解できる。
- (3) 健康障害をもつ高齢者の援助方法について理解できる。
- (4) 健康問題をもつ高齢者の看護過程展開方法について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	小テスト30%, 期末試験40%
レポート課題	25	看護過程20%, 疑似体験レポート5%
上記以外	5	グループワーク・発表5%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高齢者看護すぐに実践トータルナビ	岡本充子 他	メディカ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

老年看護学概論を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	地域生活実習							担当教員	平田 弘美 / 川口 恭子 / 川端 智子 / 河野 益美 / 古株 ひろみ / 小島 亜未 / 小林 孝子 / 玉川 あゆみ / 馬場 文 / 松井 宏樹 / 森本 安紀
講義コード	1501043	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号	141NUR233								

授業概要

地域で生活しているさまざまな健康状態にある子どもから高齢者までの人々との交流を通して、看護の対象である「人間」への興味を育み、理解を深める。

到達目標

- (1) 地域で生活するさまざまな発達段階にある人々の「生活」について考える。
- (2) 地域で生活する人々に対する「看護」の役割について考える。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	小児看護学領域評価点：30% 老年看護学領域評価点：30% 公衆衛生・在宅看護学領域：30%

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。遅刻・早退は-15点の減点とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	助産学実習/							担当教員	板谷 裕美 / 濱野 裕華 / 古川 洋子 / 堀内 遥子 / 未定 * / 渡邊 友美子
講義コード	1600581	単位数	13	開講期	通年実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

理論に基づいた助産活動を周産期医療の現場で実践するための基礎的能力を修得する。分娩介助実習および継続事例実習を通して、妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期・乳幼児期の助産診断を实践し、診断に基づいた助産ケア実践を展開する。また、NICU実習や助産所実習を通して、さまざまな分野における助産活動を推進する能力を養う。

到達目標

- (1) 科学的根拠に基づいた妊娠期の助産診断と必要な支援が実践できる。
- (2) 科学的根拠に基づいた分娩期の助産診断と必要な支援が実践できる。
- (3) 科学的根拠に基づいた産褥期の助産診断と必要な支援が実践できる。
- (4) 科学的根拠に基づいた新生児期の助産診断と必要な支援が実践できる。
- (5) NICU実習を通してハイリスク新生児の看護を学び、胎児のリスクアセスメントについて考察できる。
- (6) 妊娠期から産褥期における継続的な助産活動を実践できる。
- (7) 助産管理の実際を理解し、地域母子保健活動分野における助産師の役割を理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習評価表に基づき、総合的に評価する。 60%以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	今日の助産	北川真理子	南江堂	
2	助産業務ガイドライン	日本助産師会	日本助産師会出版	
3	産婦人科診療ガイドライン	日本産科婦人科学会		

前提学力等

基礎助産学、助産診断技術学、助産診断技術学演習の単位修得がなければ、履修することは出来ない。

履修資格

講義名	助産診断・技術学 /							担当教員	古川 洋子 / 越山 雅文
講義コード	1600611	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

妊娠期における助産過程の展開に必要な診断および技術の原理と技法について学習する。

到達目標

- (1) 妊娠期の助産診断と技術の特徴が理解できる(10%)
- (2) 妊娠期の助産診断過程を展開するために必要な知識の修得ができる(40%)
- (3) ハイリスク妊婦の特徴とケアが理解できる(30%)
- (4) 妊婦の助産ケア実践のための基本的技術が理解できる(20%)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	(1) 妊娠期の助産診断と技術の特徴が理解できる(10%) (2) 妊娠期の助産診断過程を展開するために必要な知識の修得ができる(40%) (3) ハイリスク妊婦の特徴とケアが理解できる(30%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	助産学講座6 助産診断・技術学	我部山キヨ子ほか編	医学書院	
2	最新産科学(正常編)	荒木 勤 著	東京文光堂	
3	最新産科学(異常編)	荒木 勤 著	東京文光堂	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	産婦人科診療ガイドライン 産科編	日本産科婦人科学会 / 日本産婦人科医会編集	日本産科婦人科学会事務局発行	978 - 4 - 907890 - 03 - 2
2				
3				

講義中に適宜紹介します

前提学力等

履修資格

講義名	助産診断・技術学 /							担当教員	古川 洋子 / 越山 雅文
講義コード	1600621	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

分娩期にある対象への助産過程の展開に必要な診断および技術の原理と技法について学習する。

到達目標

1. 助産診断に必要な分娩期にある対象の身体的、心理的、社会的特徴を理解する(10%)
2. 分娩期の助産診断過程を展開するために必要な知識の修得ができる(40%)
3. ハイリスク産婦の助産診断の特徴と助産ケアが理解できる(30%)
4. 産婦への助産実践のための基本的技術が理解できる(20%)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	1. 助産診断に必要な分娩期にある対象の身体的、心理的、社会的特徴を理解する(10%) 2. 分娩期の助産診断過程を展開するために必要な知識の修得ができる(40%) 3. ハイリスク産婦の助産診断の特徴と助産ケアが理解できる(30%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	助産学講座7 助産診断・技術学	我部山キヨ子ほか編	医学書院	
2	最新産科学(正常編)	荒木 勤 著	東京文光堂	
3	最新産科学(異常編)	荒木 勤 著	東京文光堂	

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	産婦人科診療ガイドライン 産科編2014	日本産科婦人科学会 / 日本産婦人科医会編集・監修	公益社団法人日本産科婦人科学会事務局	978 - 4 - 907890 - 03 - 2
2				
3				

講義中に適宜紹介します

前提学力等

履修資格

講義名	助産診断・技術学演習/							担当教員	古川 洋子 / 板谷 裕美 / 越山 雅文 / 濱野 裕華 / 堀内 遥子 / 未定* / 渡邊 友美子
講義コード	1600631	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講		
ナンバリング番号									

授業概要

模擬事例による助産過程の展開演習をとおり、周産期における助産診断の実践活動に必要な知識や技術を修得し、助産の実践につなげることを目的とする。

到達目標

- (1) 妊娠期のアセスメントから助産診断を理解し、必要な妊婦への助産援助技術が習得できる
- (2) 分娩期のアセスメントから助産診断を理解し、産婦へ必要な助産援助技術が習得できる。
- (3) 産褥・新生児・乳児期のアセスメントから助産診断を理解し、産褥・新生児への必要な助産援助技術が習得できる。
- (4) 周産期にあるハイリスクや異常を理解し、妊産褥婦や新生児への必要な支援が理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	目標1、2、3各20%、目標4は10%とし、合計70%とする
レポート課題		
上記以外	60%	分娩介助技術試験 目標2は、助産診断に関連した分娩介助技術 20%、 目標3は、新生児キャッチ 10%とする

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない
成績評価項目について、各々6割以上の得点があること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	助産学講座 2～8		医学書院	
2	最新産科学(正常編)		東京文光堂	
3	最新産科学(異常編)		東京文光堂	

産婦人科診療ガイドライン 産科編 2017

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	産婦人科診療ガイドライン 産科編 2017	日本産科婦人科学会 / 日本産婦人科医会編集・監修科医会	日本産科婦人科学会事務局	
2				
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

履修資格

講義名	助産診断・技術学演習/							担当教員	古川 洋子 / 板谷 裕美 / 越山 雅文 / 濱野 裕華 / 堀内 遥子 / 未定 * / 渡邊 友美子
講義コード	1600631	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講		
ナンバリング番号									

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	助産診断と援助技術と展開	プレテスト 【古川】
第2回	助産診断と援助技術と展開	総合演習に向けての概要と今後の準備 【古川】
第3回	妊娠期の助産診断と援助技術と展開1	妊娠期総合演習 妊娠期の助産診断の展開（妊娠期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（妊娠の診断、妊婦
第4回	妊娠期の助産診断と援助技術と展開1	妊娠期総合演習 妊娠期の助産診断の展開（妊娠期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（妊娠の診断、妊婦
第5回	妊娠期の助産診断と援助技術と展開2	妊娠期総合演習 妊娠期の助産診断の展開（妊娠期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（妊娠の診断、妊婦
第6回	妊娠期の助産診断と援助技術と展開2	妊娠期総合演習 妊娠期の助産診断の展開（妊娠期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（妊娠の診断、妊婦
第7回	妊娠期の助産診断と援助技術と展開3	妊娠期総合演習 妊娠期の助産診断の展開（妊娠期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（妊娠の診断、妊婦
第8回	妊娠期の助産診断と援助技術と展開3	妊娠期総合演習 妊娠期の助産診断の展開（妊娠期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（妊娠の診断、妊婦
第9回	分娩期の助産診断と援助技術と展開1	分娩期総合演習 分娩期の助産診断の展開（分娩期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（分娩期の診断、分
第10回	分娩期の助産診断と援助技術と展開1	分娩期総合演習 分娩期の助産診断の展開（分娩期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（分娩期の診断、分
第11回	分娩期の助産診断と援助技術と展開2	分娩期総合演習 分娩期の助産診断の展開（分娩期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（分娩期の診断、分
第12回	分娩期の助産診断と援助技術と展開2	分娩期総合演習 分娩期の助産診断の展開（分娩期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（分娩期の診断、分
第13回	分娩期の助産診断と援助技術と展開3	分娩期総合演習 分娩期の助産診断の展開（分娩期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（分娩期の診断、分
第14回	分娩期の助産診断と援助技術と展開3	分娩期総合演習 分娩期の助産診断の展開（分娩期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（分娩期の診断、分
第15回	分娩期の助産診断と援助技術と展開4	フリースタイル分娩の分娩介助技術 【古川&臨床助産師】
第16回	分娩期の助産診断と援助技術と展開4	フリースタイル分娩の分娩介助技術 【古川&臨床助産師】
第17回	産科手術の基礎知識と演習1	産科手術の基礎、産科救急処置、急速遂娩時の対応演習 【越山】
第18回	産科手術の基礎知識と演習1	産科手術の基礎、産科救急処置、急速遂娩時の対応演習 【越山】
第19回	産科手術の基礎知識と演習2	会陰切開及び裂傷に伴う縫合産褥期総合演習 【越山】
第20回	産科手術の基礎知識と演習2	会陰切開及び裂傷に伴う縫合、産褥期総合演習 【越山】
第21回	産褥、新生児期の助産診断と助産技術の展開1	産褥期総合演習 産褥期の助産診断の展開（産褥期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（退行性変化促進支
第22回	産褥、新生児期の助産診断と助産技術の展開1	産褥期総合演習 産褥期の助産診断の展開（産褥期の経過・予測診断と健康生活診断）、助産技術（退行性変化促進支
第23回	産褥、新生児期の助産診断と助産技術の展開2	新生児期総合演習 新生児期の助産診断の展開（新生児期の経過・予測診断と健康生活診断）と助産技術（早期新生児ケ
第24回	産褥、新生児期の助産診断と助産技術の展開	新生児期総合演習 新生児期の助産診断の展開（新生児期の経過・予測診断と健康生活診断）と助産技術（早期新生児ケ
第25回	産褥、新生児期の助産診断と助産技術の展開3	ベビーキャッチ演習 【板谷】
第26回	産褥、新生児期の助産診断と助産技術の展開3	ベビーキャッチ演習 【板谷】
第27回	新生児蘇生法の実際	NCPR Bコース 【中村Dr & 板谷】
第28回	新生児蘇生法の実際	NCPR Bコース 【中村Dr & 板谷】
第29回	母乳育児支援の理論と実際	母乳育児支援の理論と実際 【渡邊MW & 板谷】
第30回	母乳育児支援の理論と実際	母乳育児支援の理論と実際 【渡邊MW & 板谷】

担当者から一言

診断に基づくケア技術が実践できるよう、技術練習については自主的・積極的に、リアリティを持って臨むこと。とくに分娩介助技術実践では、事例の分娩進行に基づく診断とケアを行えるよう、十分な知識とアセスメント力を高めること。

講義名	基礎助産学 /							担当教員	越山 雅文 / 板谷 裕美 / 古川 洋子
講義コード	1600670	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

周産期女性の健康に関する薬理・薬剤学、栄養学、母子免疫・母子感染、遺伝等に関する基礎知識について修得するとともに、ハイリスク状態の妊産褥婦に関する診断のための医学的知識を深める。

到達目標

- (1) 周産期女性の健康に関する薬理・薬剤学、栄養学、母子免疫・母子感染、遺伝等に関する基礎知識について理解できる。
(2) ハイリスク状態の妊産褥婦に関する診断のための医学的知識を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	(1) 周産期女性の健康に関する薬理・薬剤学、栄養学、母子免疫・母子感染、遺伝等に関する基礎知識について理解できる。(50%) (2) ハイリスク状態の妊産褥婦に関する診断のための医学的知識を身につけることができる。(50%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

各授業開始前に、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	助産学講座 2 母子の基礎科学	我部山 キヨ子	医学書院	978-4-260-01837-1
2	助産学講座 3 母子の健康科学	我部山 キヨ子	医学書院	978-4-260-02173-9
3				

日本人の食事摂取基準2015年版、第一出版、ISBN 978-4-8041-1312-8

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	助産診断・技術学 /							担当教員	板谷 裕美 / 堀内 遥子
講義コード	1600680	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講		
ナンバリング番号									

授業概要

産褥期、新生児期、乳幼児期における助産過程の展開に必要な診断および技術の原理と技法について学習する。産褥期の心身の変化や新生児期の適応過程と成長発達等について判断し、正常性の判断、逸脱を的確にとらえ、ハイリスク・異常状態にある対象への対応能力を身につける。さらに、褥婦、新生児、家族への支援、高度医療施設への搬送の必要性を判断する能力を身につける。

到達目標

- (1) 産褥期、新生児期、乳幼児期の助産診断と技術の特徴が説明できる。
(2) 産褥期、新生児期、乳幼児期の助産診断過程を展開するために必要な知識が修得できる。
産褥経過の診断 健康生活の診断 育児行動に関する診断 母児の正常逸脱 の診断 出生直後の新生児の助産診断 移行期の新生児の生理的变化の診断
児の発育・発達に関する診断
(3) ハイリスク新生児の特徴とケアを理解し、新生児蘇生の基本について習得できる。
(4) 産褥期、新生児期、乳幼児期の助産ケア実践のための基本技術が習得できる。
復古促進 母乳栄養の確立 産後の家庭生活の確立 正常逸脱時のケア

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	産褥期50点、新生児期40点、乳幼児期10点の100点満点とし60点以上を合格とする。
レポート課題		
上記以外		

講義演習を3/1以上欠席した場合は、評価対象外とする。

授業外学習

* 第9・10回の中村講師の講義演習には、新生児蘇生法テキスト(最新版)を必ず熟読したうえで出席すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	助産学講座7 助産診断・技術学 分娩期・産褥期	我部山 キヨ子	医学書院	9784260015721
2	助産学講座8 助産診断・技術学 新生児期・乳幼児期	横尾京子	医学書院	9784260015776
3	新生児蘇生法テキスト	田村 正徳	メジカルビュー社	9784758310697

指定教科書：仁志田博司著 新生児学入門 第4版 医学書院 2012

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

育成看護論、育成看護論演習・、育成看護論実習、小児看護学概論・各論・演習での既習知識について習熟していること。

履修資格

講義名	公衆衛生看護学							担当教員	馬場 文 / 川口 恭子 / 小島 亜未
講義コード	1600690	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

公衆衛生看護学演習の前提として以下のことについて講義する。
 1 - (1) 乳幼児の心身の発達の特徴、およびその特徴に応じた個別保健指導の方法について
 1 - (2) 高齢者の心身の状態や生活の特徴、およびその特徴に応じた個別保健指導の方法について
 2 地域診断の基本的知識と展開方法について

到達目標

- (1) 乳幼児期の心身発達の特徴に応じた保健指導について説明できる
- (2) 高齢者の心身状態および生活状況に応じた保健指導について説明できる
- (3) 地域診断の目的、意義、理論（モデル）について説明できる
- (4) 地域診断における情報収集、アセスメント、健康課題の抽出の過程について理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1) : 25% 到達目標(2) : 15% 到達目標(3) : 20%
レポート課題	40	到達目標(1) : 10% 到達目標(2) : 10% 到達目標(4) : 20%
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
 レポート課題は、その都度指示する。

授業外学習

第1～7回は、授業およびレポート課題の作成に、1～3年次に履修した小児看護、育成（母性）看護および老年看護の各「分野の知識が必要になるので、予習・復習を各自で行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術	中村裕美子 他	医学書院	978-4-260-02193-7
2	標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動	中谷芳美 他	医学書院	978-4-260-01820-3
3	標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論	奥山則子 他	医学書院	978-4-260-02004-6

教科書は、2年次および3年次までに購入したものを使用。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域看護診断	金川克子, 田高悦子 編	東京大学出版会	978-4-13-062408-4
2	地域看護アセスメントガイド アセスメント・計画・評価のすすめかた	佐伯和子 編著	医歯薬出版株式会社	978-4-263-23495-2
3	新版 270動画でわかる 赤ちゃんの発達地図	木原秀樹	メディカ出版	978-4-8404-5010-2

その他、授業ごとに参考資料等のプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護管理論							担当教員	小林 孝子
講義コード	1600700	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

日常的な地域住民に対する公衆衛生看護活動や感染症・災害発生等を含む地域の健康危機管理に対する基本的な知識を学ぶ。地域で活動する看護職には健康課題を未然に防ぐ能力や他職種とともに活動できる能力など総合的な地域管理能力が求められる。個別ケアだけでなく集団に対するケア、地域全体に対するケア、看護管理が必要とされることを理解し、総合的な看護能力の開発に取り組む。

到達目標

- (1) 公衆衛生看護管理における基本的な知識と管理能力について説明できる。
- (2) 保健師の専門能力について自己の考えを述べることができる。
- (3) 地域の健康危機についての課題を述べることができ、解決方法や予防について説明できる。
- (4) 公衆衛生看護の倫理について、事例を通して課題と解決方法を述べるができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	(1) 定期試験 (40%) (3) 定期試験 (30%) (4) 定期試験 (10%)
レポート課題	10	(2) 課題レポート (10%)
上記以外	10	(2) 発表 (10%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

公衆衛生看護学概論で使用了したテキストを用いる

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康教育方法演習							担当教員	小島 亜未 / 川口 恭子
講義コード	1600710	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号									

授業概要

健康教育論で学んだ理論と方法についての知識を元に効果的な健康教育の演習を行う。健康教育に用いるアセスメント技術、カウンセリング技術、グループワーク技法を学び、それらの技術を用いて健康相談や健康教室の企画・実施・評価が行える能力を養う。健康教育の実際を想定してグループで企画立案し、発表後に自分たちの健康教育案についての評価を行う。

到達目標

(1)成人の保健指導場面において、健康状態をアセスメントし、対象者のニーズに応じた保健指導を展開することができる。(2)対象となる集団の健康課題に応じた健康教育を効果的に展開することができる。(3)グループ活動の意義を理解し、協働して課題に取り組むことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	到達目標(1)(2)(3)について課題への取り組みと合わせて自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは指定しない

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護学演習							担当教員	馬場 文 / 川口 恭子 / 小島 亜未
講義コード	1600720	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581MNT525								

授業概要

1. 公衆衛生看護学実習の前提として、家庭訪問（新生児、高齢者）の実際について演習を行う。新生児および高齢者の事例を用いて、家庭訪問による援助計画の立案を行う。また、家庭訪問に必要な、コミュニケーション・観察・保健指導・評価の視点などの技術を、ロールプレイを通じて体得する。
2. 公衆衛生看護学 の講義をふまえて、実習グループで実習市町の地域診断に取り組む。地域診断の過程のうち、実習市町の情報収集・アセスメント・健康課題の抽出までを展開し、最後にその成果を発表する。

到達目標

- (1) 家庭訪問事例演習において、母子事例の情報から、訪問による援助計画（アセスメント・健康課題の抽出・訪問目的と目標の設定・訪問計画の立案を実施することができる。
- (2) 家庭訪問事例演習において、高齢者事例の情報から、アセスメント・健康課題の抽出・訪問目的と目標の設定・訪問計画の立案を実施することができる。
- (3) 家庭訪問を想定したロールプレイにおいて、家庭訪問に必要な技術を用いて対象に関わることができる。（新生児訪問を想定して）
- (4) 地域診断演習において、グループで、実習地域の情報収集・アセスメント・健康課題を実施することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	80	到達目標 (1) : 30% 到達目標 (2) : 30% 到達目標 (4) : 20%
上記以外	20	到達目標 (3) : 10% ロールプレイで家庭訪問の技術確認 到達目標 (4) : 10% 地域診断グループ発表 評価基準は、別途作成のルーブリックを参照

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
レポート課題については、授業内で指示する。
到達目標 (3) は、家庭訪問のロールプレイを行い、技術確認で評価する。統合実習が済んだ後、7月末～8月初めに実施する予定。日時は、授業内で

授業外学習

レポート課題を完成させるためには、授業外の学習時間を多く必要とする。
特に、後半の地域診断では、実習グループで実習先の地域診断に取り組む、グループで発表することとしている。そのため、グループメンバーで協

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座 1 地域看護学概論	奥山則子 他	医学書院	
2	標準保健師講座 2 地域看護技術	中村裕美子 他	医学書院	
3	標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護あ活動	中谷芳美 他	医学書院	

教科書は、2年次および3年次に購入したものを使用

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	乳幼児健診マニュアル	福岡地区小児科医会乳児保健委員会 編集	医学書院	978-4-260-00877-8
2	授乳・離乳の支援ガイド実践の手引き	柳澤正義 監修	母子保健事業団	978-4-89430-141-2
3				

その他、授業時に必要な資料はプリントで配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護学演習							担当教員	馬場 文 / 川口 恭子 / 小島 亜未
講義コード	1600720	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	演習		
ナンバリング番号	581MNT525								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	家庭訪問と支援技術(1)	家庭訪問について 保健師が行う家庭訪問とは
第2回	家庭訪問と支援技術(2)	家庭訪問について 家庭訪問のプロセスと技術
第3回	家庭訪問と支援技術(3)	【母子】 家庭訪問(新生児訪問)の実際 DVD視聴および事例を用いたアセスメントと支援方針の検討(グループワーク)
第4回	家庭訪問と支援技術(4)	【母子】 家庭訪問(新生児訪問)の実際 DVD視聴および事例を用いたアセスメントと支援方針の検討(グループワーク)
第5回	家庭訪問と支援技術(5)	【母子】 新生児訪問の実際 訪問計画立案の演習(グループワーク)
第6回	家庭訪問と支援技術(6)	【母子】 新生児訪問の実際 訪問計画立案の演習(グループワーク)
第7回	家庭訪問と支援技術(7)	【母子】 新生児の状態観察・身体計測などの実際 - ロールプレイ
第8回	家庭訪問と支援技術(8)	【高齢者】 地域で暮らす高齢者への家庭訪問の実際 - 情報収集・アセスメントの視点の検討(グループワーク)
第9回	家庭訪問と支援技術(9)	【高齢者】 地域で暮らす高齢者への家庭訪問の実際 情報収集・アセスメントの視点の検討(グループワーク)
第10回	家庭訪問と支援技術(10)	【高齢者】 地域で暮らす高齢者への家庭訪問の実際 - 保健指導の演習(ロールプレイ) -
第11回	家庭訪問と支援技術(11)	【高齢者】 地域で暮らす高齢者への家庭訪問の実際 - 保健指導の演習(ロールプレイ) -
第12回	家庭訪問と支援技術(12)	【高齢者】 地域で暮らす高齢者への家庭訪問の実際 - 保健指導の演習(ロールプレイ) -
第13回	地域診断の実際(1)	実習市町の地域診断
第14回	地域診断の実際(2)	実習市町の地域診断
第15回	地域診断の実際(3)	実習市町の地域診断
第16回	地域診断の実際(4)	実習市町の地域診断
第17回	地域診断の実際(5)	実習市町の地域診断
第18回	地域診断の実際(6)	実習市町の地域診断
第19回	地域診断の実際(7)	実習市町の地域診断
第20回	地域診断の実際(8)	実習市町の地域診断
第21回	地域診断の実際(9)	実習市町の地域診断
第22回	地域診断の実際(10)	実習市町の地域診断
第23回	地域診断の実際(11)	実習市町の地域診断
第24回	地域診断の実際(12)	実習市町の地域診断
第25回	地域診断の実際(13)	実習市町の地域診断
第26回	地域診断の実際(14)	実習市町の地域診断
第27回	地域診断の実際(15)	実習市町の地域診断
第28回	地域診断の実際(16)	実習市町の地域診断 - グループ発表
第29回	地域診断の実際(17)	実習市町の地域診断 - グループ発表
第30回	地域診断の実際(18)	実習市町の地域診断 - グループ発表

担当者から一言

能動的に参加すること、グループメンバーと協力し合うことを意識してください。

講義名	公衆衛生看護学実習							担当教員 小林 孝子 / 川口 恭子 / 小島 亜未 / 馬場 文
講義コード	1600730	単位数	5	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号								

授業概要

地域で生活する個人・家族、集団ならびにそれらを取り巻く地域を対象としたヘルスケアシステムについての理解を深める。また、保健所・市町村といった行政機関などの活動をとおり、個人・家族、集団、地域を対象とした看護活動を展開するための基礎的能力を養う。

到達目標

- (1) 地域の健康課題を明らかにし、解決・改善策を計画・立案することができる。
- (2) 地域の健康増進能力を高める個人・家族・集団・組織への継続的支援について理解を深めることができる。
- (3) 公衆衛生看護の対象と活動の場に応じた技術を実践することができる。
- (4) 地域の健康水準を高めるための社会資源開発・システム化・施策化について、その方法やプロセスが理解できる。
- (5) 地域の健康危機管理に必要な能力が理解できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	5	(1)～(5) レポート5%
上記以外	95	実習記録、実習参加度、評価表をもとに、目標への到達度を総合的に評価する。 (1) 30% (2) 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

4年次前期の保健師資格取得科目が修得見込みであること

履修資格

講義名	助産管理/							担当教員	古川 洋子
講義コード	1600740	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

助産管理の必要性と助産業務範囲について理解し、助産業務管理に必要な基礎的能力を学習する。また、管理の原則をふまえて助産業務を望ましい方向に発展できる能力を養う。

到達目標

- (1) 助産管理の概念、特殊性を理解することができる
- (2) 助産師の法的責任と義務について関連法規と照らし合わせて考えることができる
- (3) 周産期管理システムとリスクマネジメントについて理解することができる
- (4) 病産院における助産業務管理について理解することができる
- (5) 助産所における助産業務管理について理解することができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	定期試験 到達目標(1)～(5)のうち70%
レポート課題	20	レポート提出 到達目標(3)、(4)、(5)に関するレポート各10%
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	助産学講座10 助産管理	我部山キヨ子ほか編	医学書院	978 - 4 - 260 - 00972 - 0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護六法	看護行政研修会監修	新日本法規	
2	助産師業務要覧(基礎編)	福井トシ子編	日本看護協会出版会	
3	助産師業務要覧(実践編)	福井トシ子編	日本看護協会出版会	

講義中に提示、紹介します。

前提学力等

履修資格

